



73 平瓦4類A。綴じ目がはずれた布綴じ4b。



74 布綴じ4c。狭端側で折り山の幅狭い。



75 布綴じ4d。



76 布綴じ4e。折り山の幅最も狭い。



77 布綴じ4f。折り山の幅が広い。



78 布綴じ4g。4fとは綴じ目の傾斜逆転。



79 4A



80 4A

79 布綴じ4h。綴じ目と縫い目がほぼ平行。

80 布綴じ4j1。ph.149-66と同一だがほどけなし。



81 4A



82 4A

81 布綴じ4k。布綴じ4dに似るが縫い方違う。

82 布綴じ4m。縫い目は広端に届かず。



83 4A



84 4A

83 布綴じ4n。4dに似るが、折り山なし。

84 布綴じ4p。綴じ目、縫い目ともぐし縫い。



85 4A



86 4A

85 布綴じ4r。4cに似るが布の重ねが逆。

86 平瓦4類A。側板の隙間に三角の突起の例。



87 4A



87 凹凸面に平行刻線叩き板で補足の叩き。



88 4A



89 4A

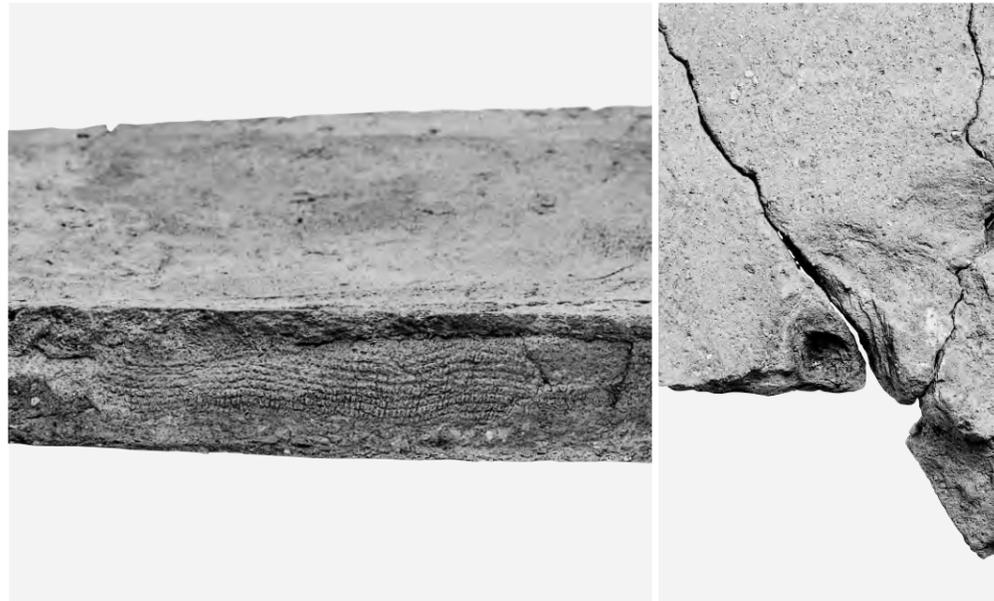
88 2本の紐を掛けた分割凸帯。

89 凸面に薬座圧痕の残る例。



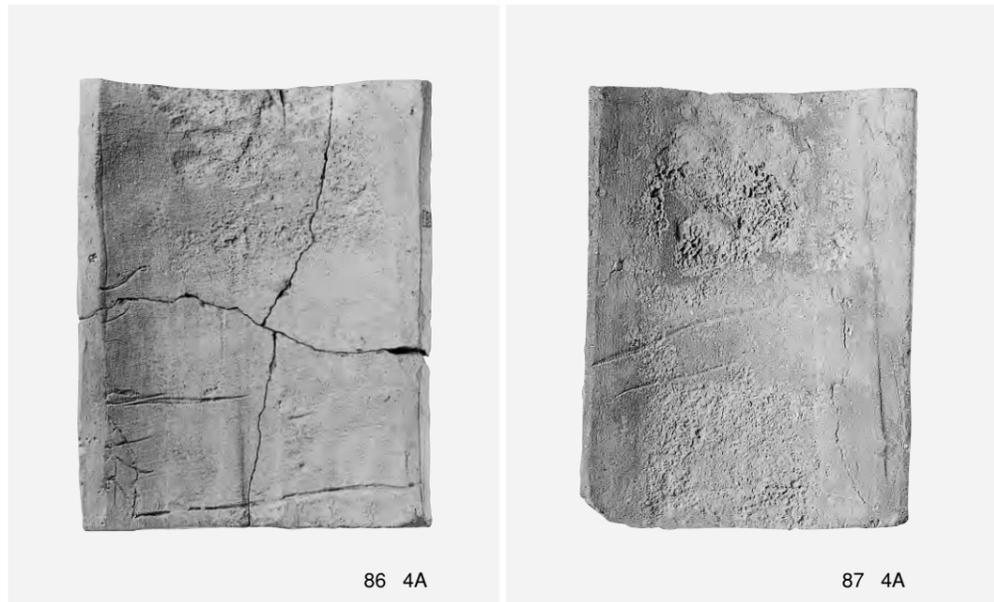
1 広端面葉座圧痕。X型に二重に縛る。

2 広端面葉座圧痕。一重に縛る。



3 粘土板合わせ目に布圧痕の例。

4 平瓦4類A。焼けた梅の種。季節は夏?。

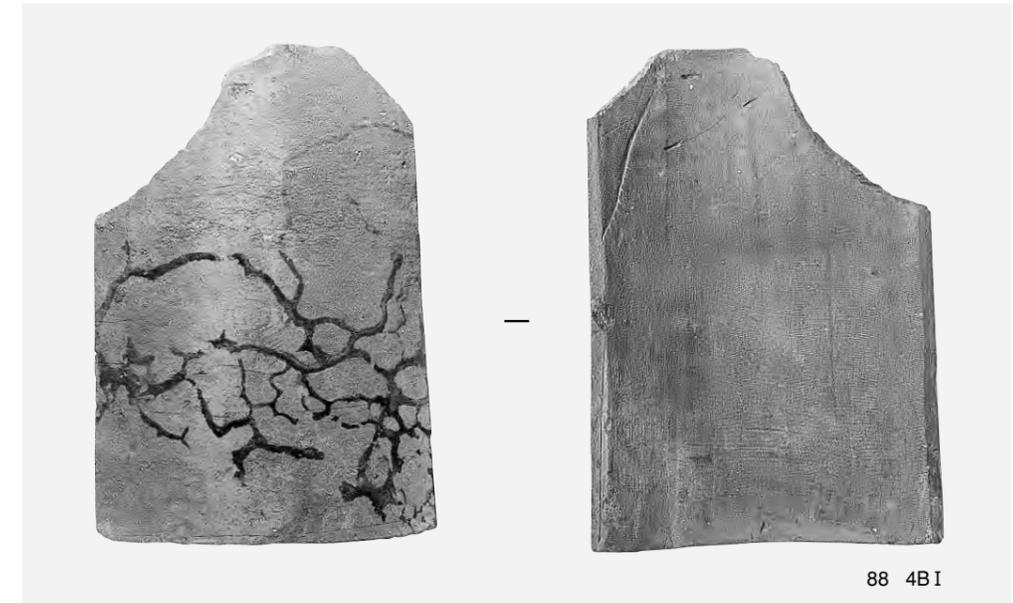


86 4A

87 4A

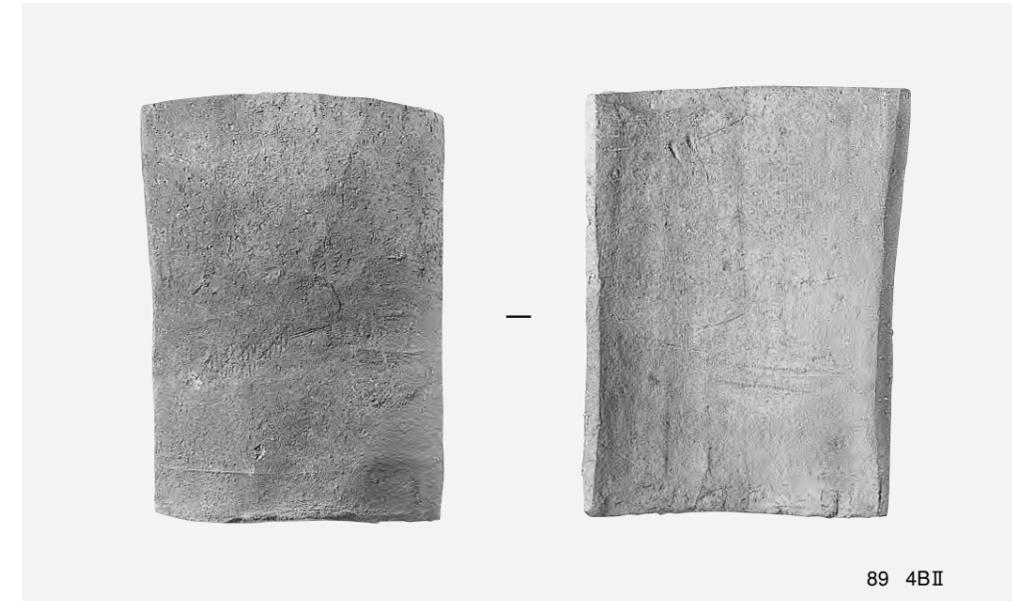
86 葺足の短い風蝕痕（4類A）。  
1：6（1～4を除く）

87 上下を逆転して2度使用した平瓦4類A。



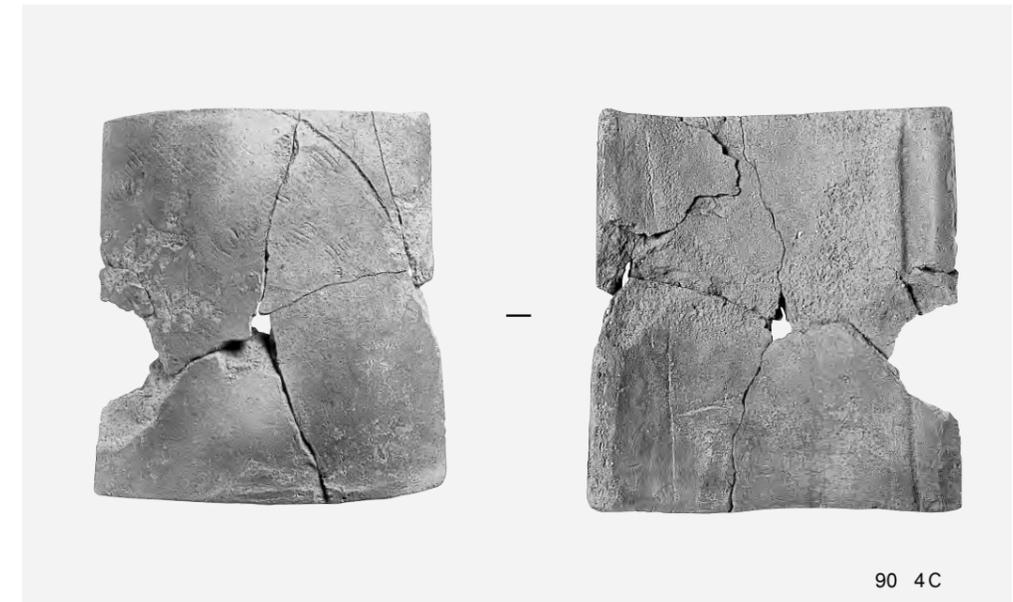
88 4BI

88 平瓦4類BI。4類Aより全長が長い。



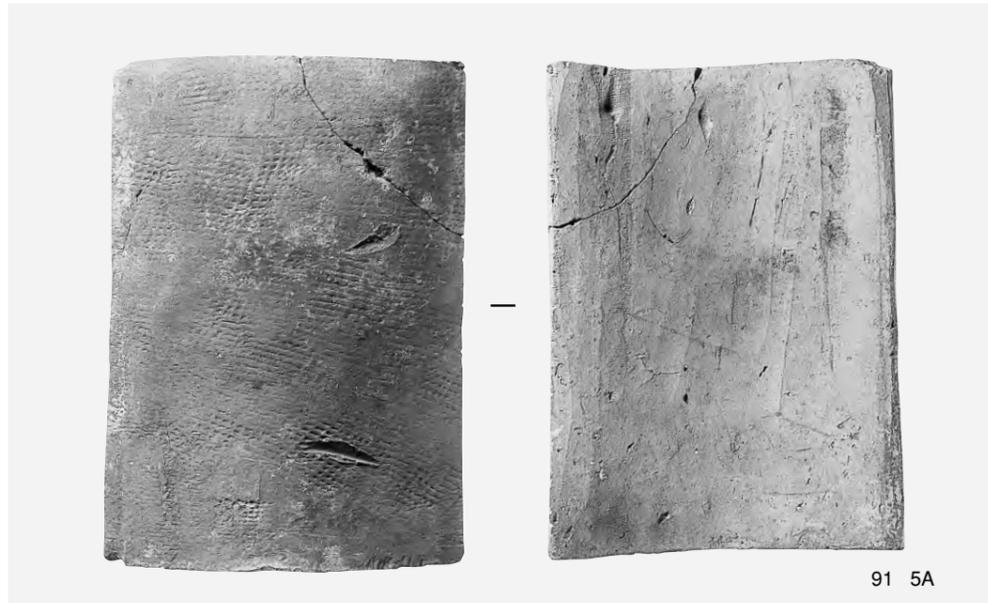
89 4BII

89 平瓦4類BII。4類Aより幅が短い。



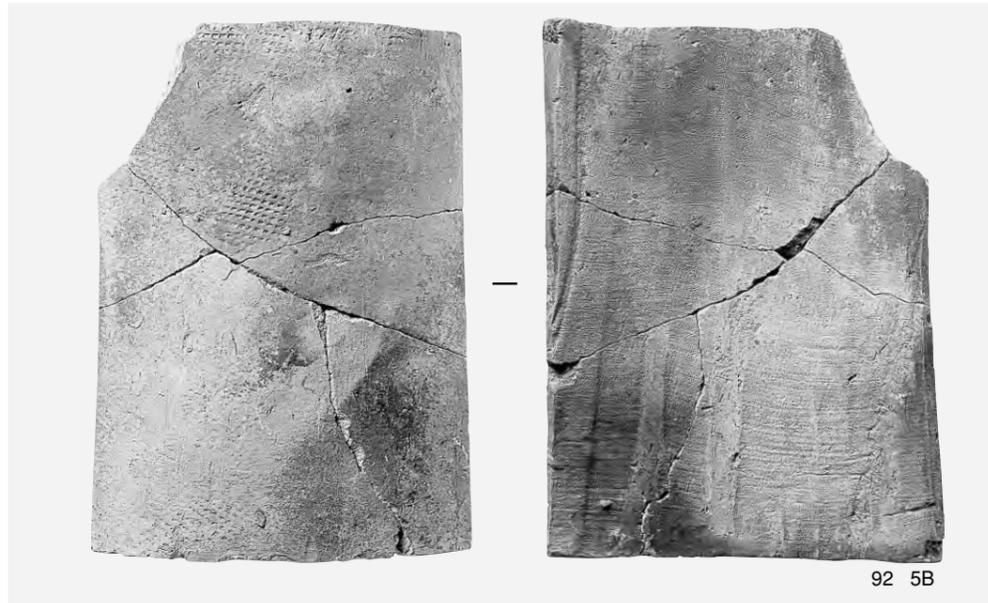
90 4C

90 平瓦4類C。ほぼ正方形の平瓦。



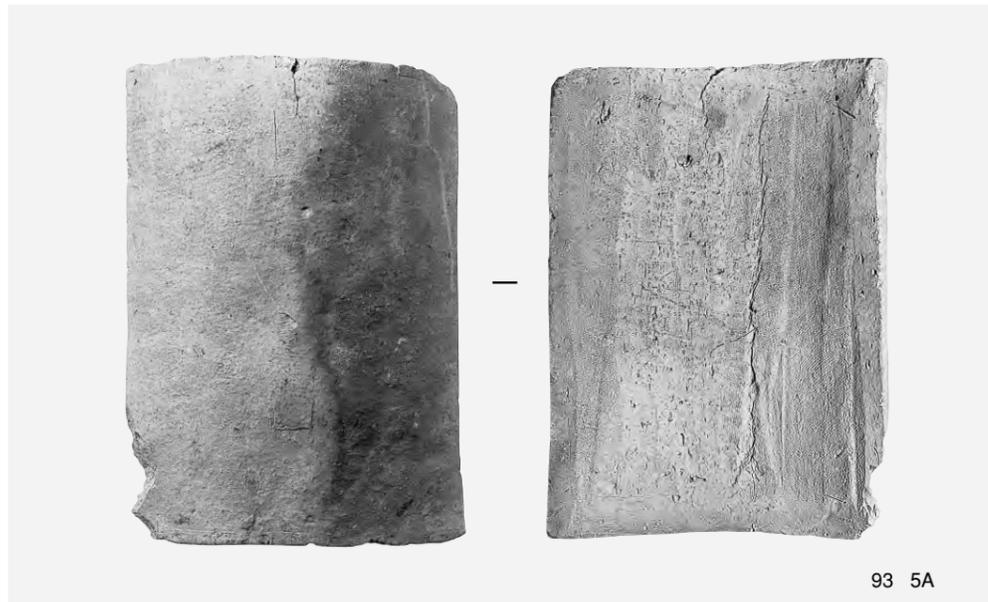
91 5A

91 平瓦5類A。凸面は叩き目を軽くナデ消す。凹面は全面タテにヘラケズリ。



92 5B

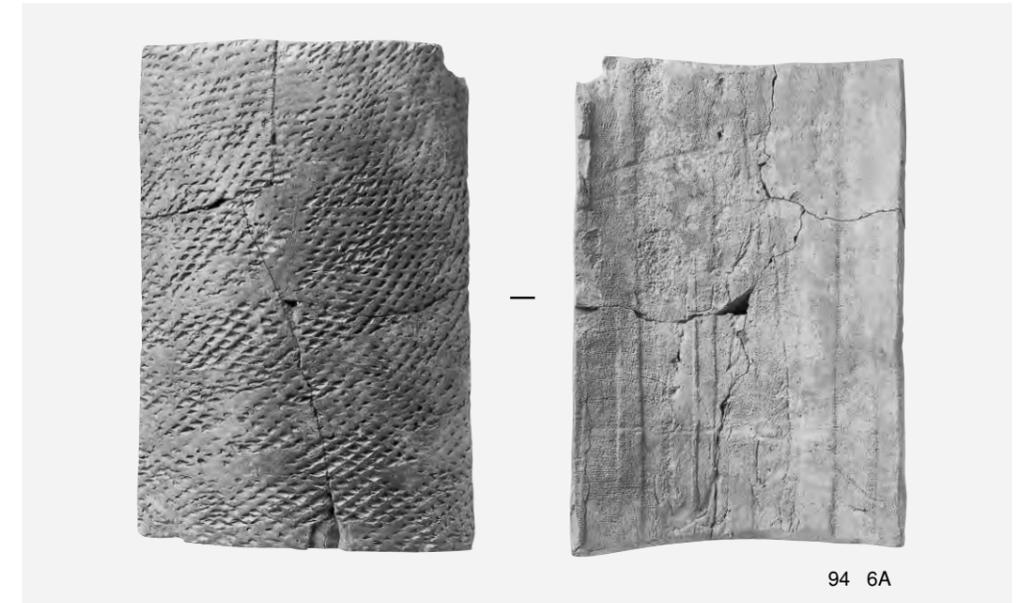
92 平瓦5類B。凸面は叩き目を軽くナデ消す。凹面調整しない。左上に縫い目、右下に布綴じあり（布綴じ5b）。



93 5A

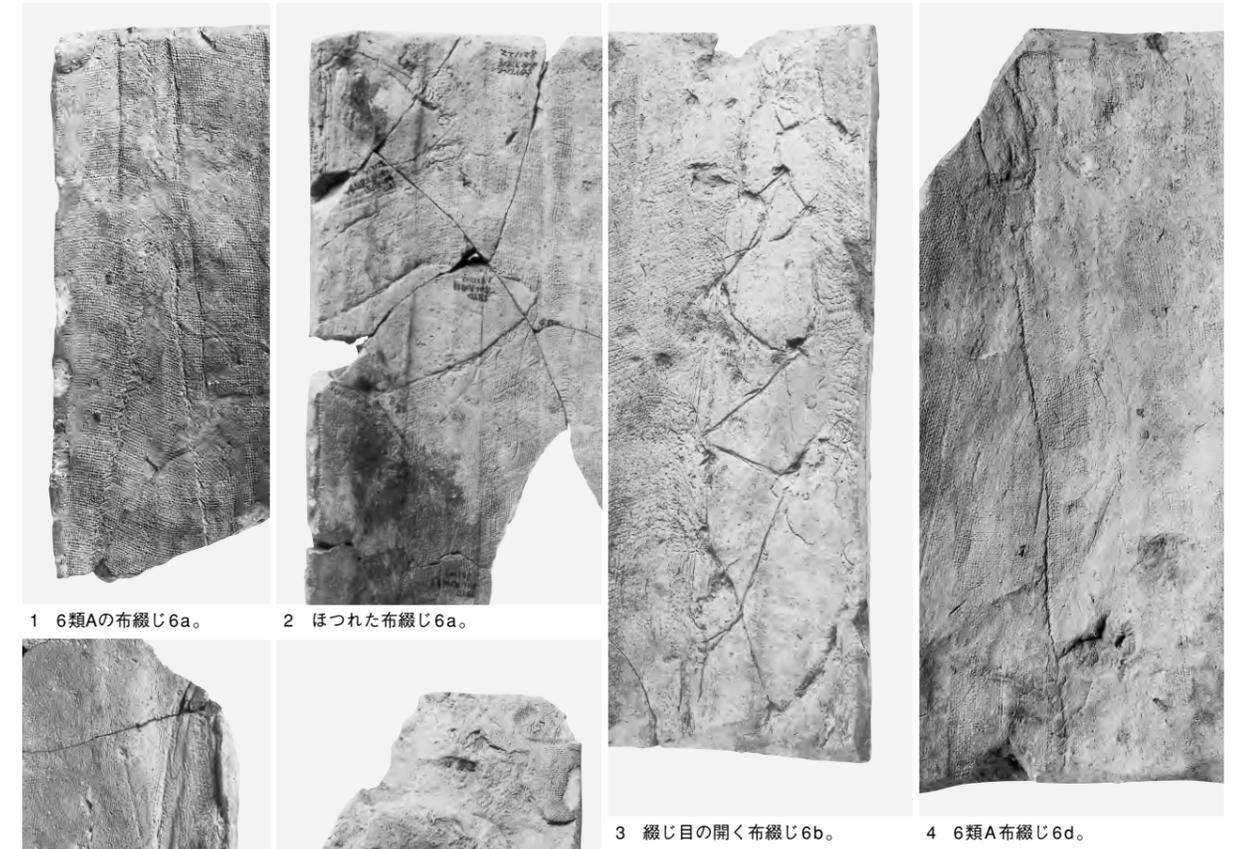
93 平瓦5類A。凸面中央に凹型台の方形痕跡。凹面に布綴じ5a。  
1 : 6 (1を除く)

1 5類Aの分割凸帯。



94 6A

94 平瓦6類A。凸面に粗い斜格子叩き目。凹面は調整せず。凹面中央に布綴じ6a。



1 6類Aの布綴じ6a。

2 ほつれた布綴じ6a。

3 綴じ目の開く布綴じ6b。

4 6類A布綴じ6d。



5 6類A布綴じ6c。



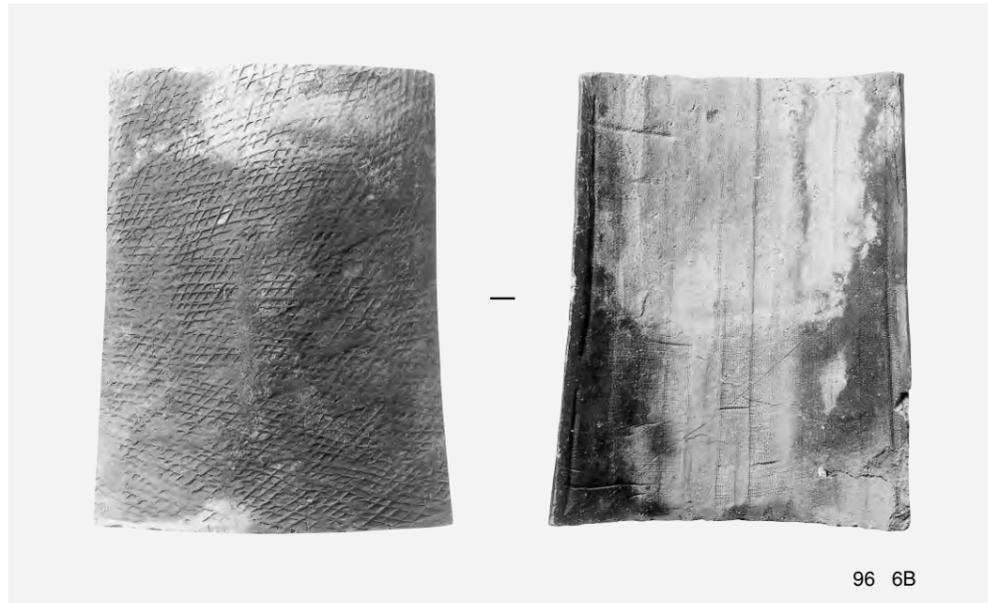
6 隅平瓦に加工された例。



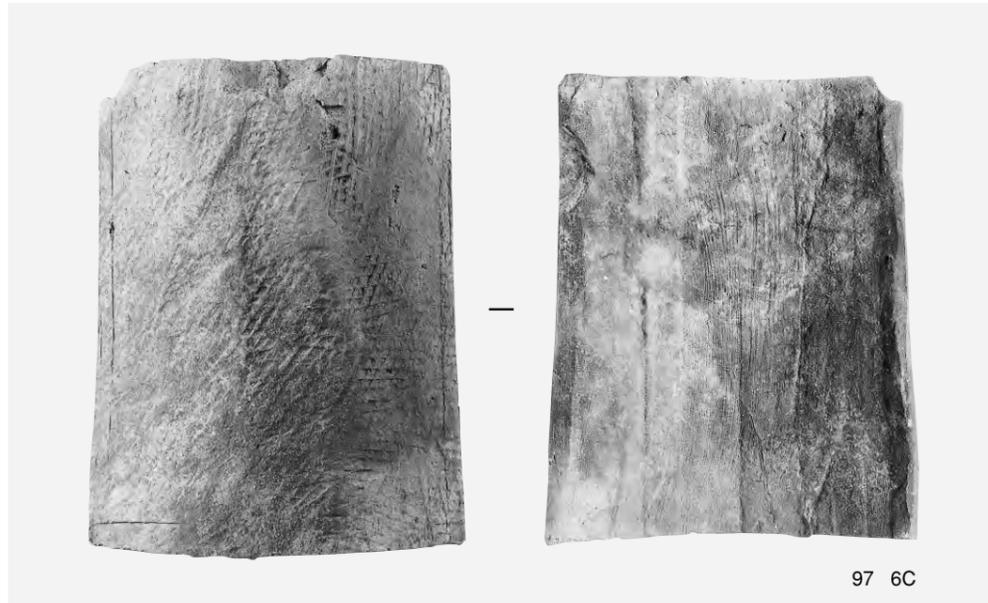
95 7A

95 平瓦7類Aの縄叩き目との共存。

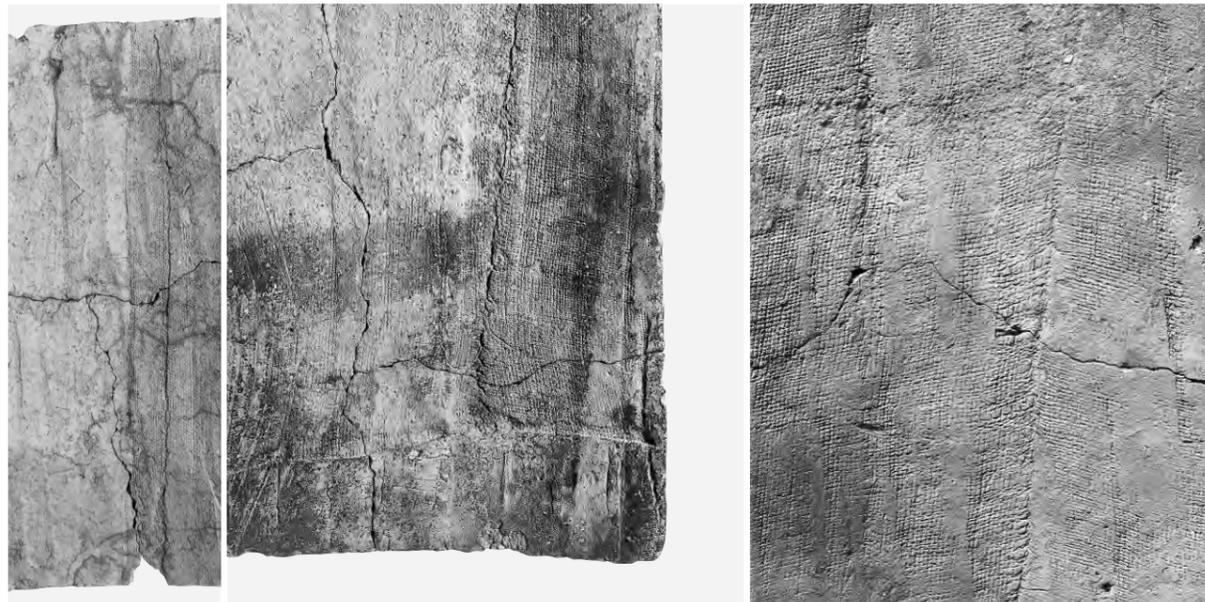
1 : 6 (1~6を除く)



96 平瓦6類B。凸面に明瞭な斜格子叩き目。凹面も調整しない。

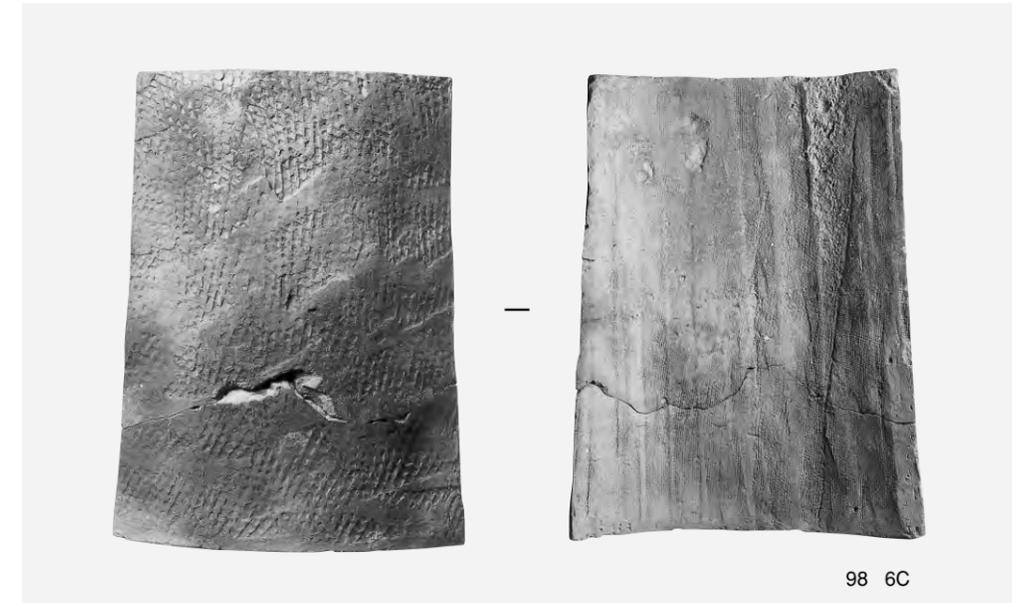


97 平瓦6類C。凸面に粗い斜格子叩き目。側辺近くに凹型台の痕跡あり。凹面は調整しない。

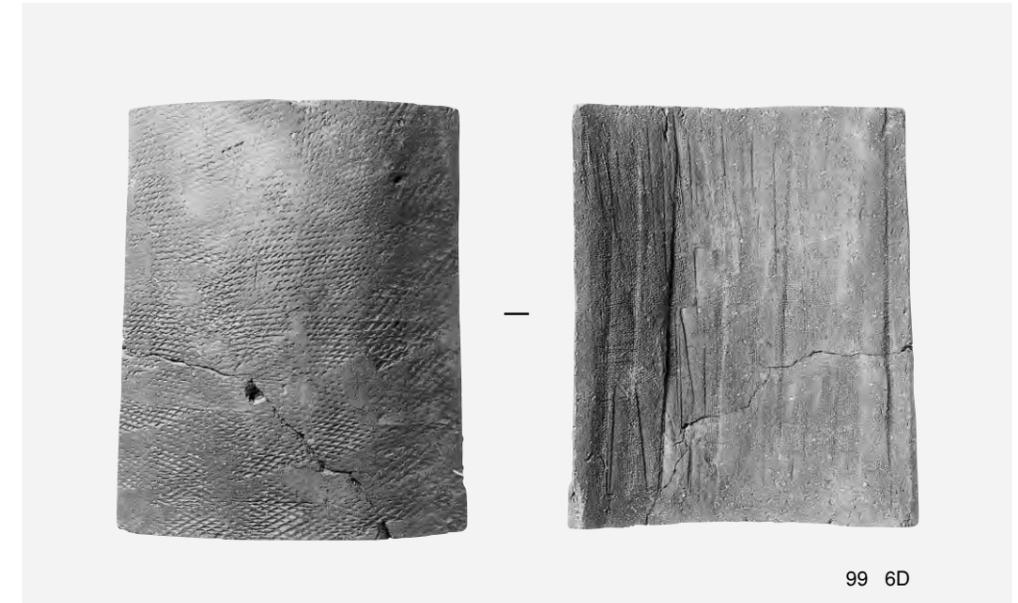


1 布綴じ6e。 2 平瓦6類B。布綴じ6fと分割凸帯。 3 平瓦6類Cの布綴じ6g。

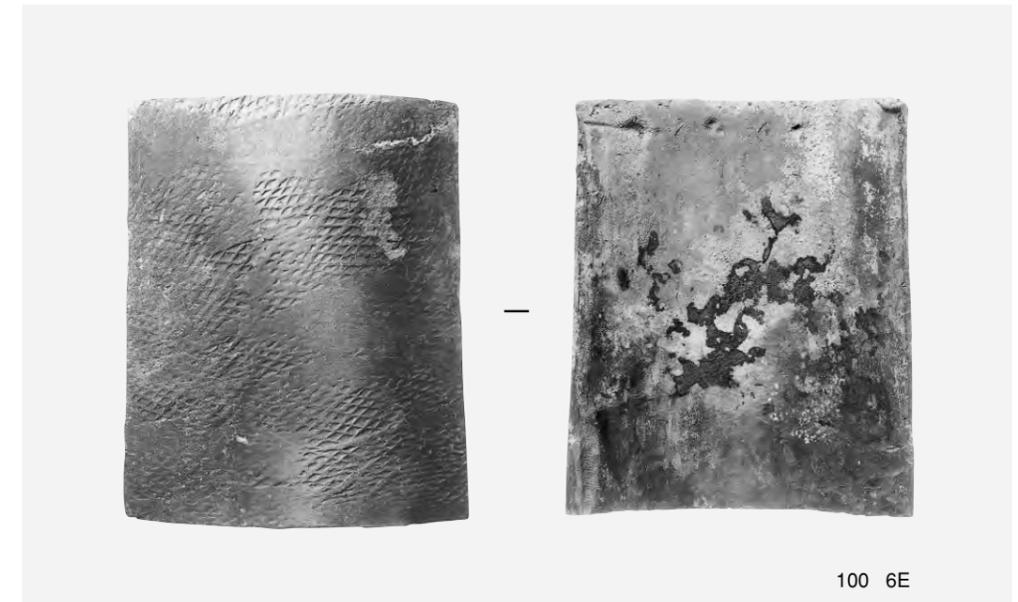
1 : 6 (1~3を除く)



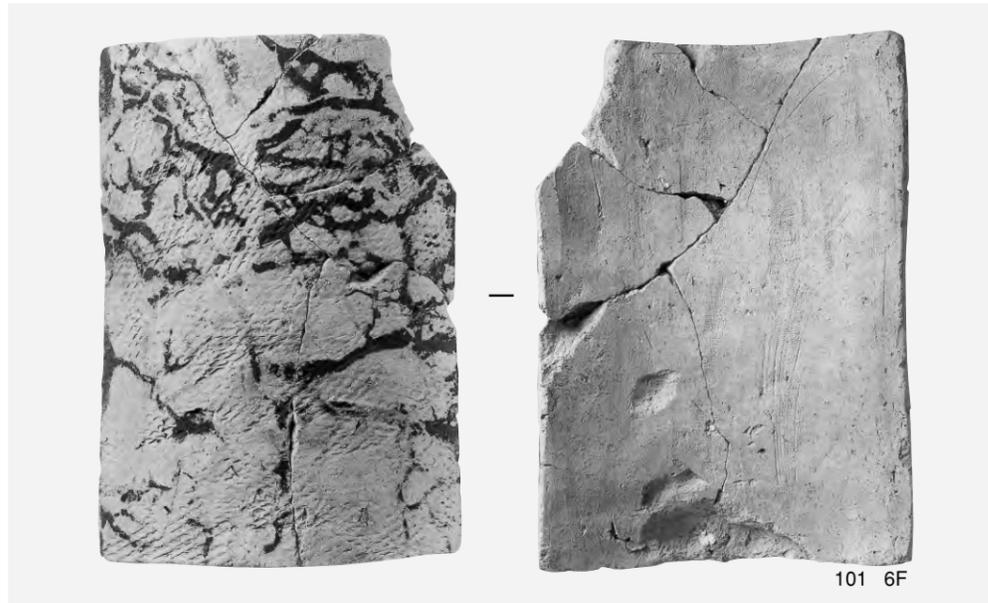
98 平瓦6類C。凸面の斜格子叩き目は縦方向に長い。凹面右側に布綴じ6gあり。



99 平瓦6類D。やや小ぶりの平瓦。凸面の叩き目2種。凹面調整せず。内叩きの痕跡あり。

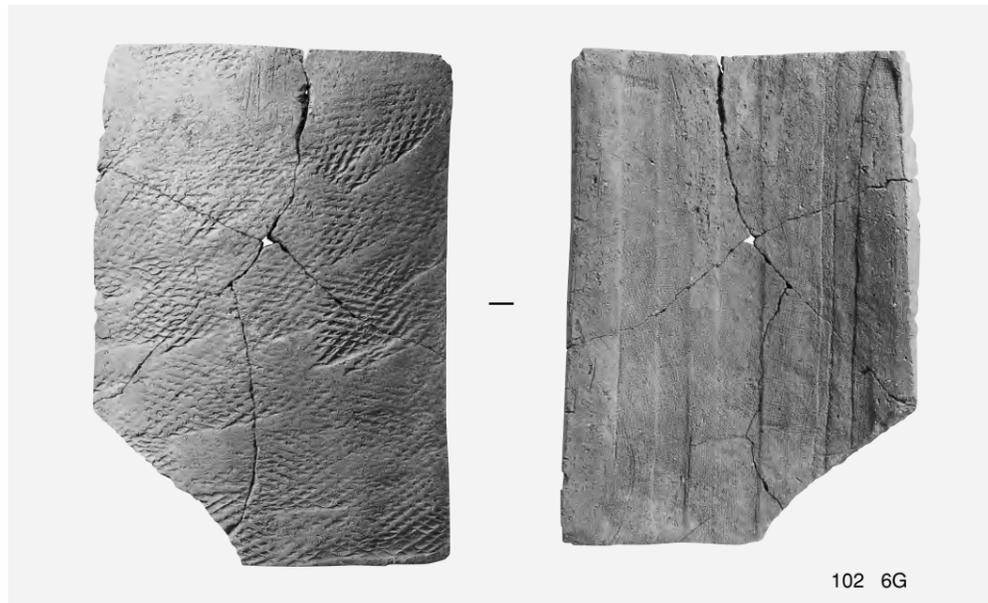


100 平瓦6類E。凹面全面を調整する。



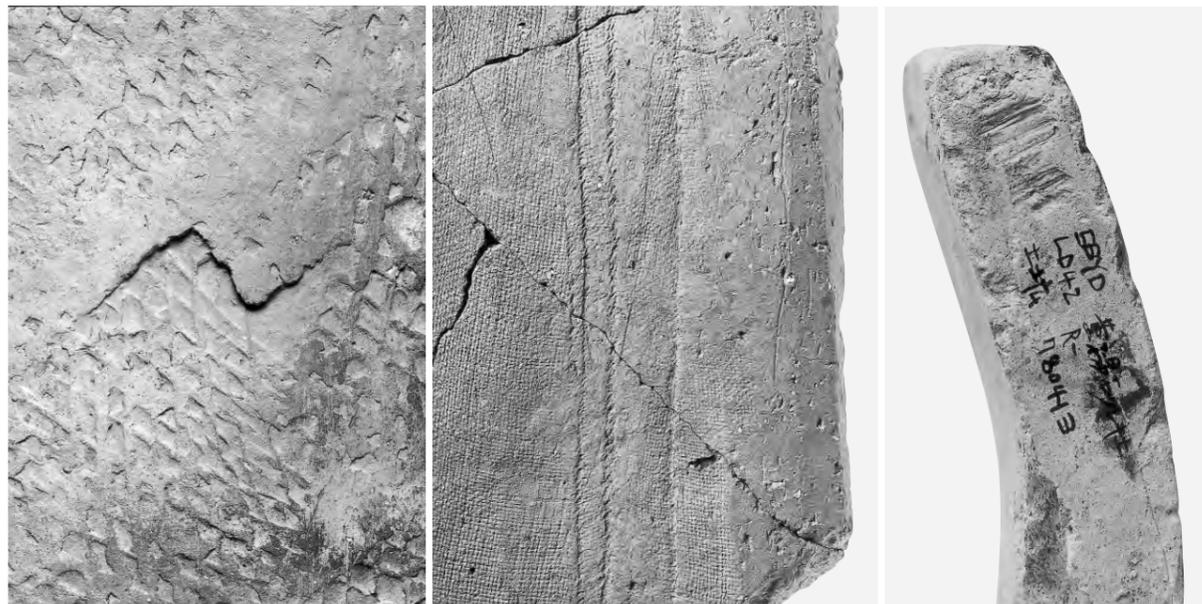
101 平瓦6類F。凹面のほぼ全面をタテナデ調整する。

101 6F



102 平瓦6類G。6類F同様全長が長い。凹面は調整しない。凹面右側に布綴じ6jあり。

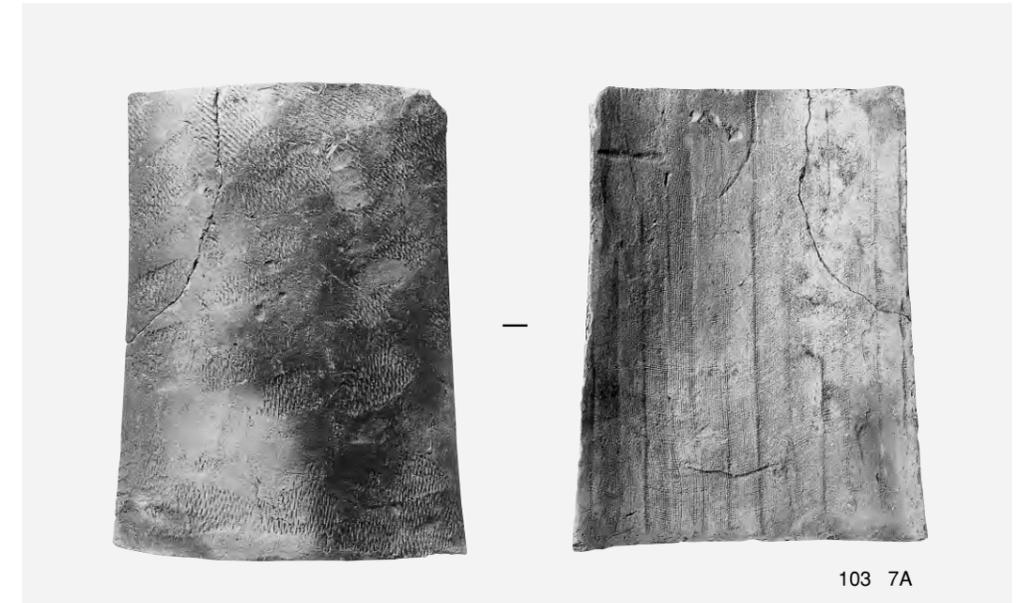
102 6G



1 平瓦6類Cの叩き板の痕跡。1：6（1～3を除く）

2 平瓦6類G布綴じ6jの細部。

3 6類F広端面の薬座圧痕。



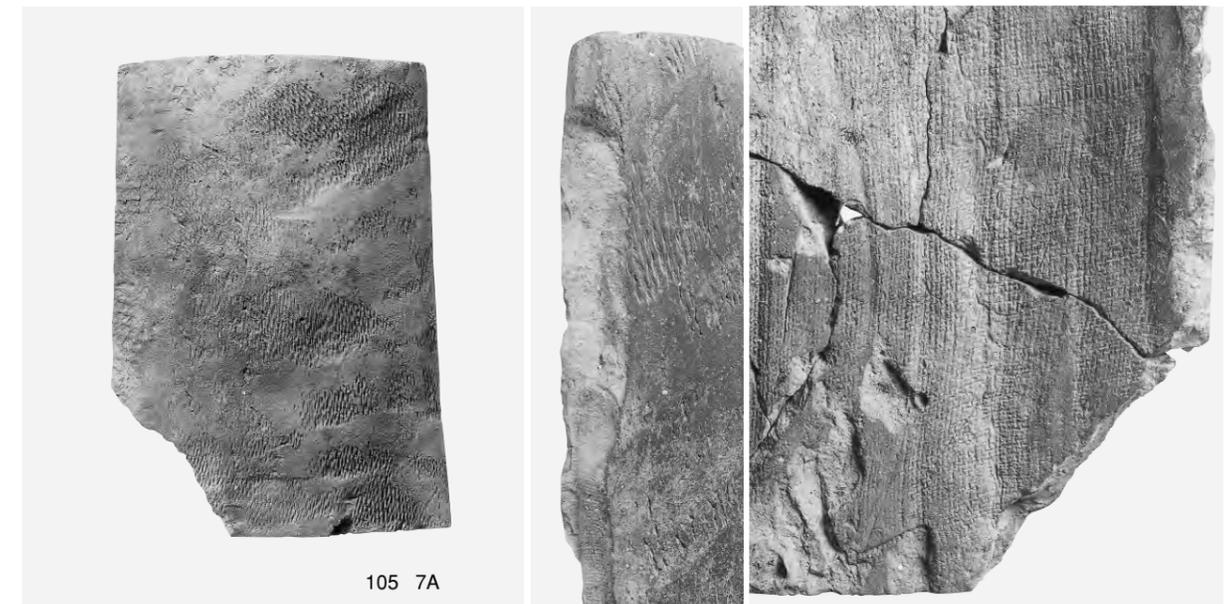
103 平瓦7類A。叩き締め円弧を描く縄叩き目。

103 7A



104 平瓦7類B。側辺に平行するタテナ叩き目。凹面中央にへら書「大」。

104 7B



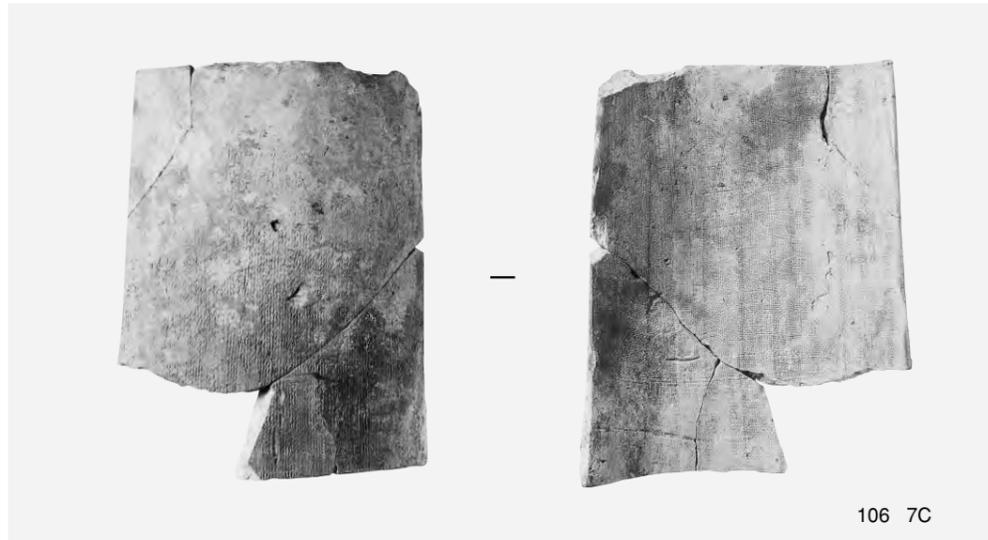
105 平瓦7類A。斜格子叩き目が共存する例。

105 7A

1 粘土板合わせ目。

2 平瓦7類Aの布綴じ7a細部。

1：6（1・2を除く）



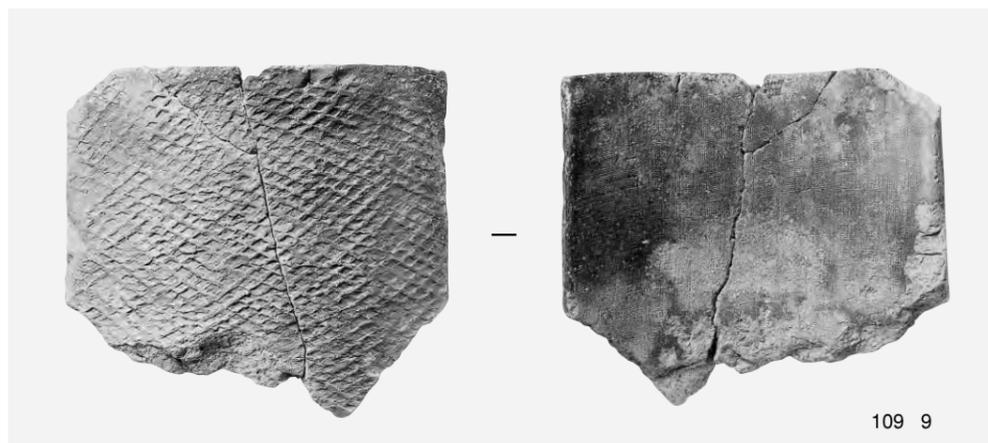
106 平瓦7類C。凸面は狭端側1/3を調整。凹面は調整しない。粘土板合わせ目あり。



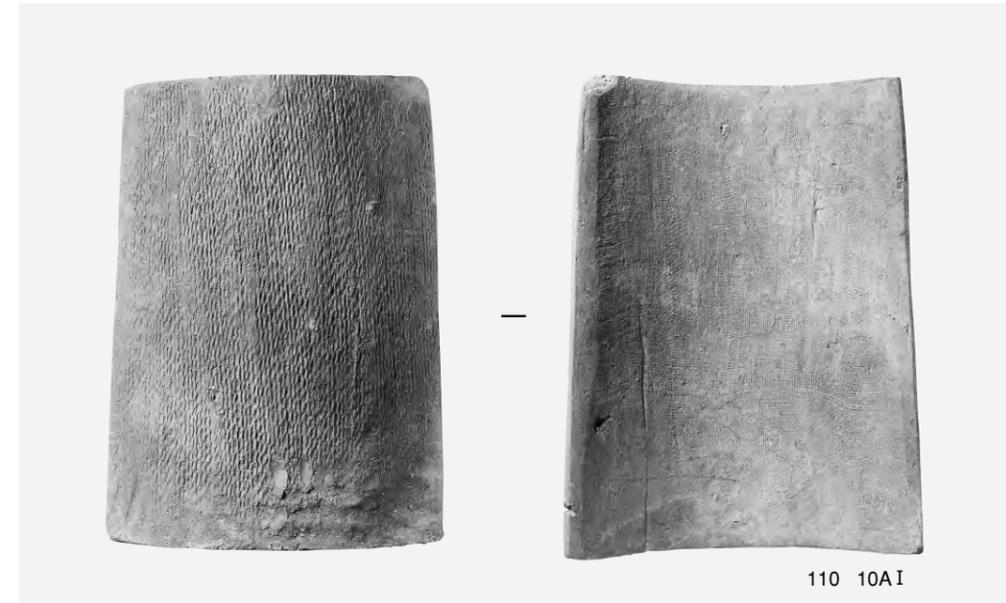
107 平瓦8類A。凸面に縄叩き目あり。凹面に粘土紐の痕跡あり。



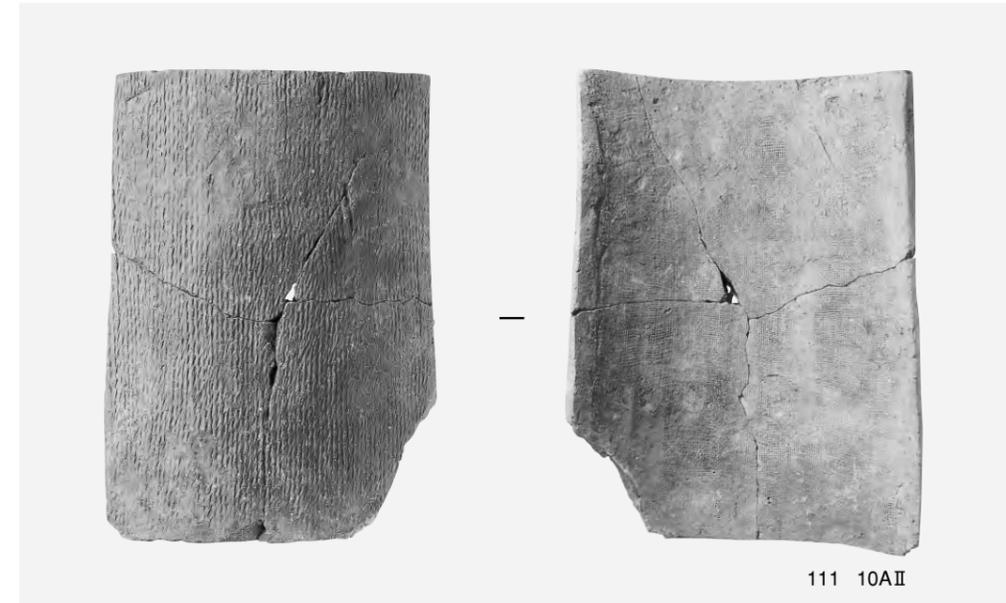
108 平瓦8類B。凹面の粘土紐の痕跡明瞭。側面に分割破面残る。



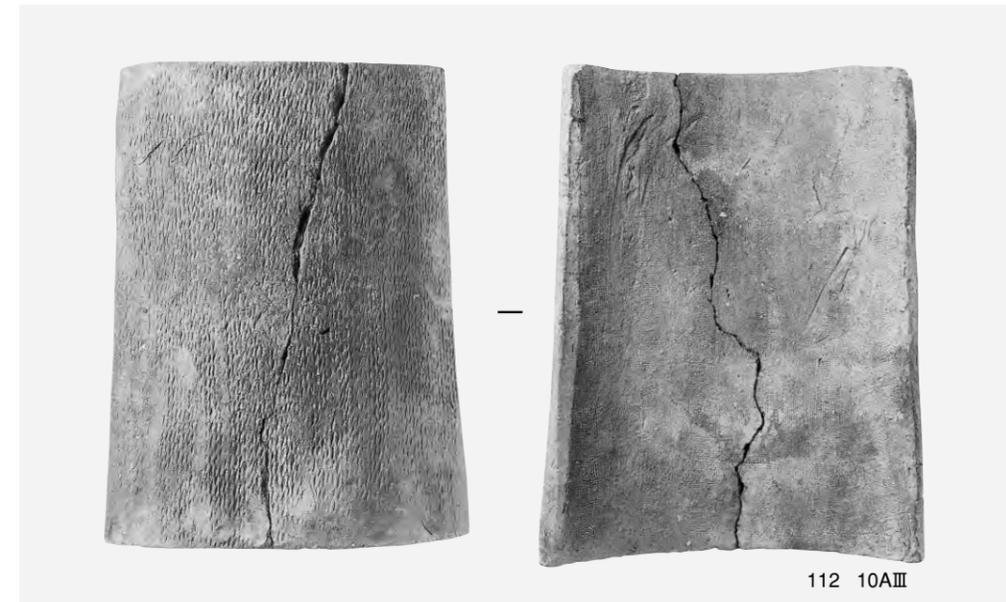
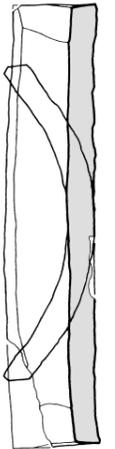
109 平瓦9類。凸面の粗い斜格子叩き目は円弧を描かない。凹面に側板の痕跡なし。



110 平瓦10類AI。凸面タテ縄叩き目。

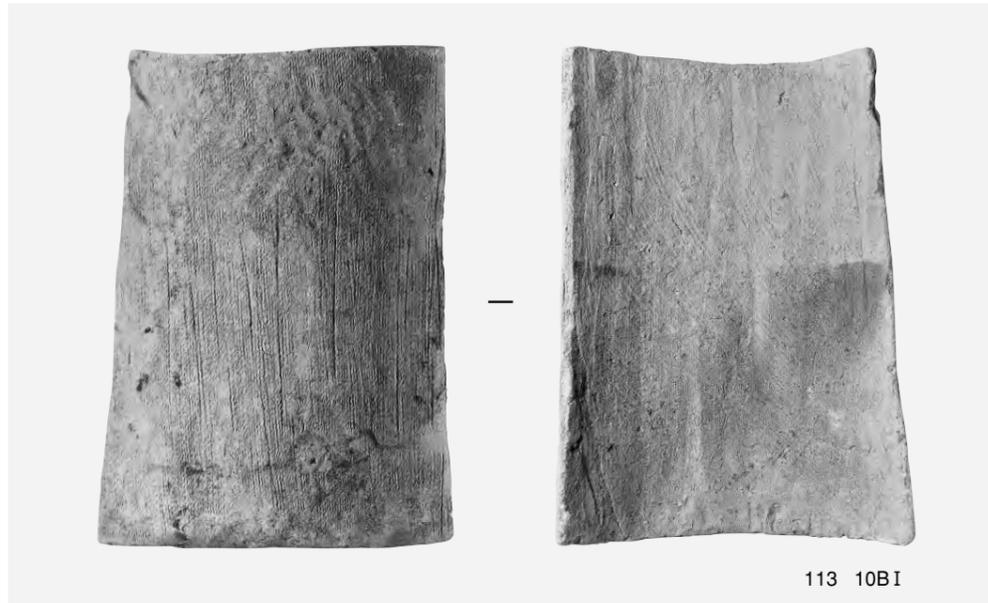


111 平瓦10類AII。凸面の縄叩き目はやや粗い。凹面左側辺近くに布端の痕跡。



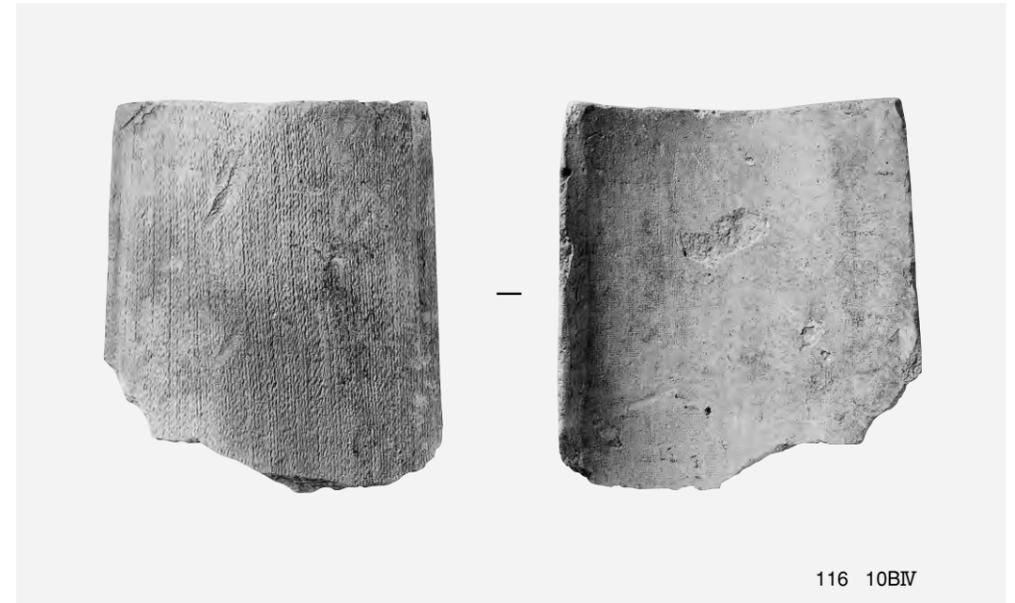
112 平瓦10類AIII。10類AI・IIより一回り大型。





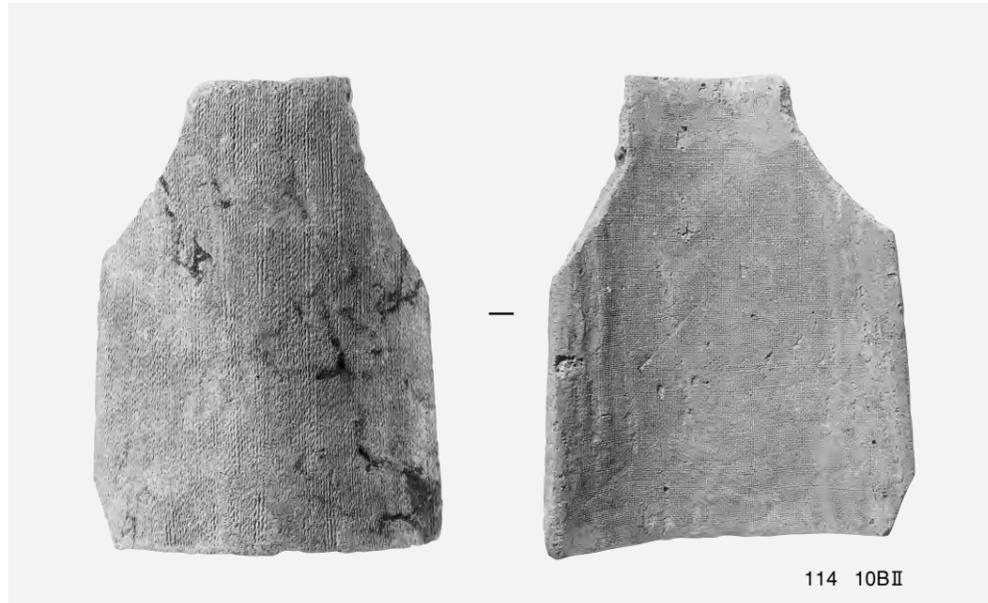
113 平瓦10類BI。縄叩き目の条が細い。凸面狭端近くにユビオサエの痕跡。凹面広端隅に布継ぎ目。

113 10BI



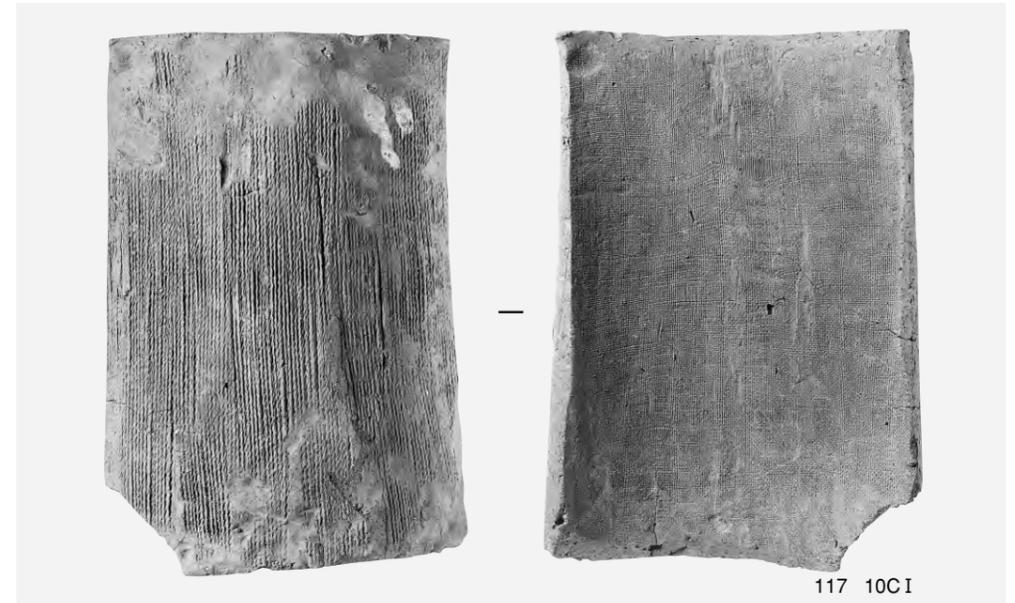
116 平瓦10類BIV。凹面中央をタテにナデ調整。湾曲が強く凹面側縁がとがる。

116 10BIV



114 平瓦10類BII。凸面全面にタテ縄叩き目。凹面調整せず、側辺近くに内叩きの痕跡あり。

114 10BII



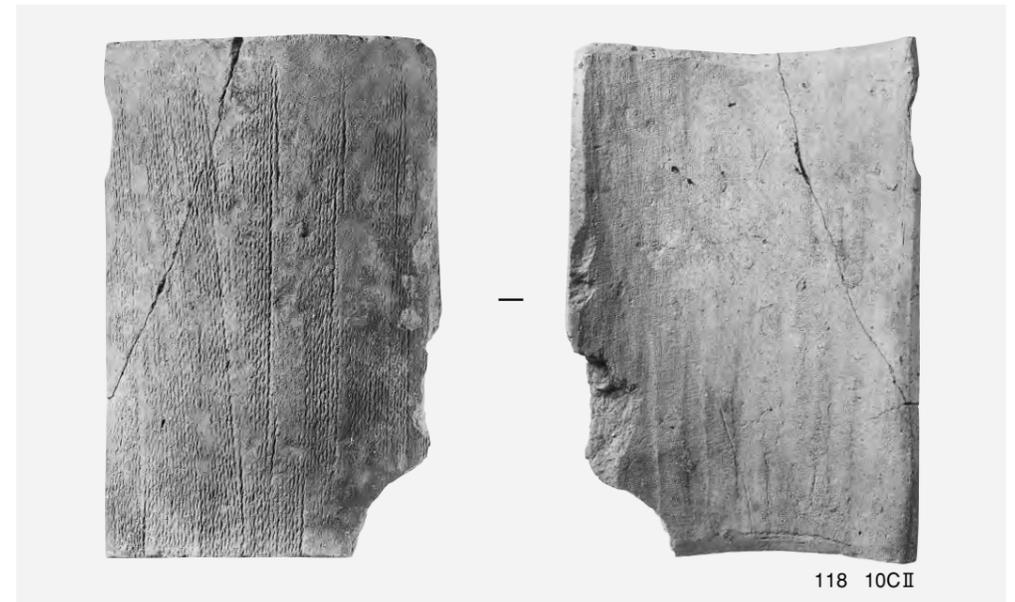
117 平瓦10類CI。瓦が長細く、凸面の縄叩き目が粗雑。

117 10CI



115 平瓦10類BIII。凸面全面にタテ縄叩き目。凹面全面をナデ調整。ヘラ書「大」。

115 10BIII



118 平瓦10類CII。凸面の縄叩き目は、条が長い。凹面に内叩きの痕跡多数。

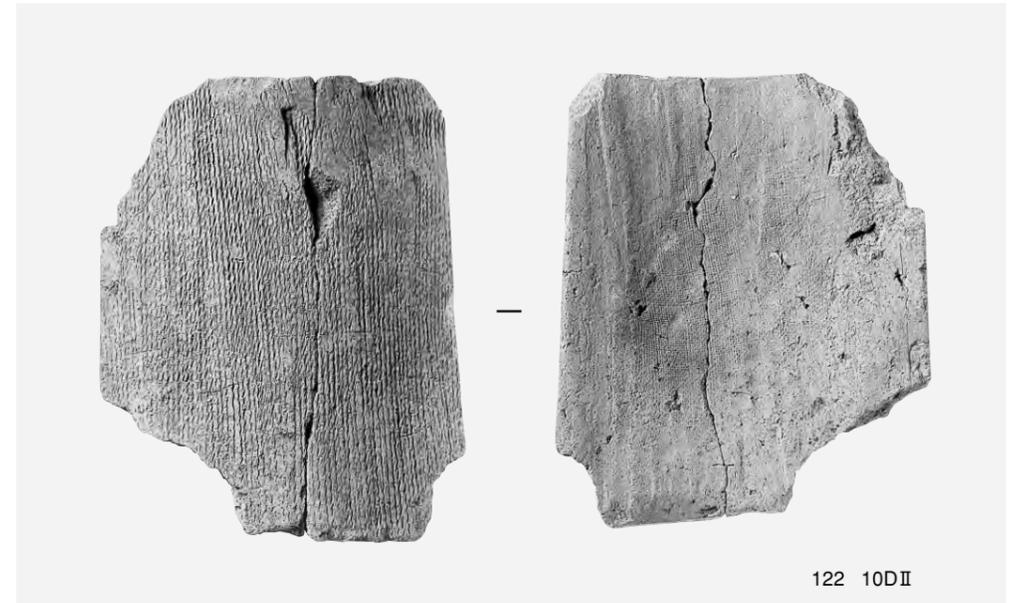
118 10CII





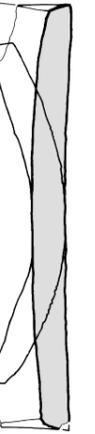
119 10CIII

119 平瓦10類CIII。凸面の縄叩き目は細い。広端近くに焼成前にあけた釘孔あり。



122 10DII

122 平瓦10類DII。凸面にも糸切り痕がみえる。凹面に内叩きの痕跡。



120 10CIV

120 平瓦10類CIV。凸面の縄叩き目は若干右傾する。凹面に内叩きの痕跡明瞭。



123 10E

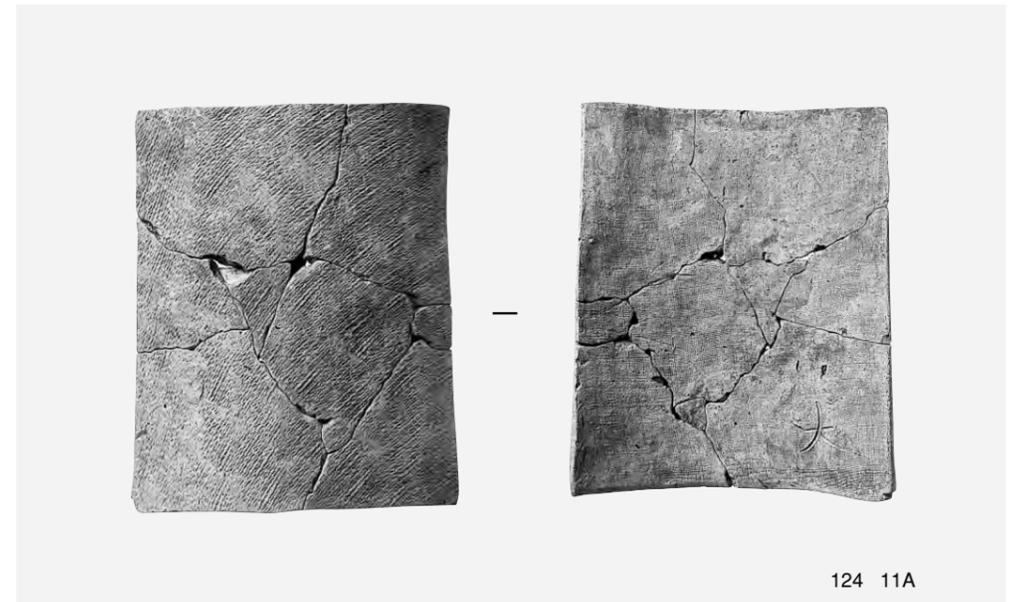
123 平瓦10類E。凹凸面に離れ砂。凸面の縄叩き目と凹面の布圧痕は不明瞭。



120 10DI

121 平瓦10類DI。小型の縄叩き平瓦。凹面に離れ砂が付着。

1:6

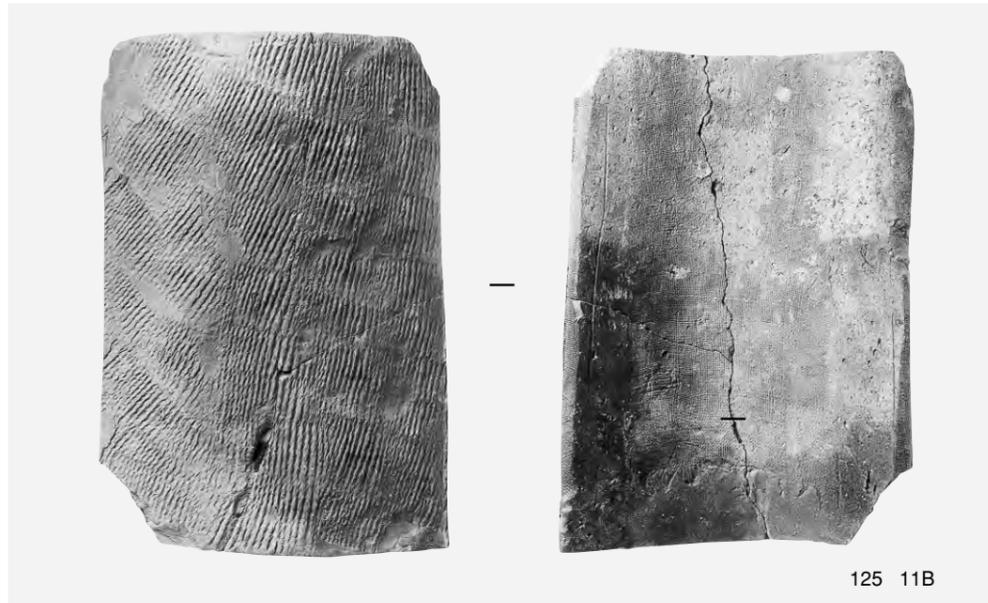


124 11A

124 平瓦11類A。凸面に右上がりの斜め縄叩き目。凹面調整せず、広端側隅にヘラ書「大」。

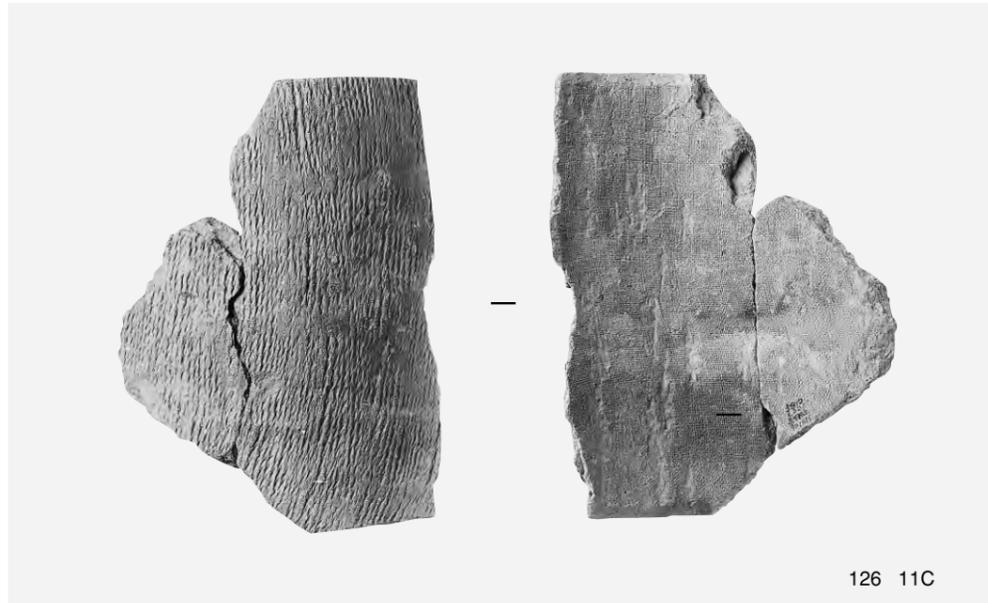


1:6



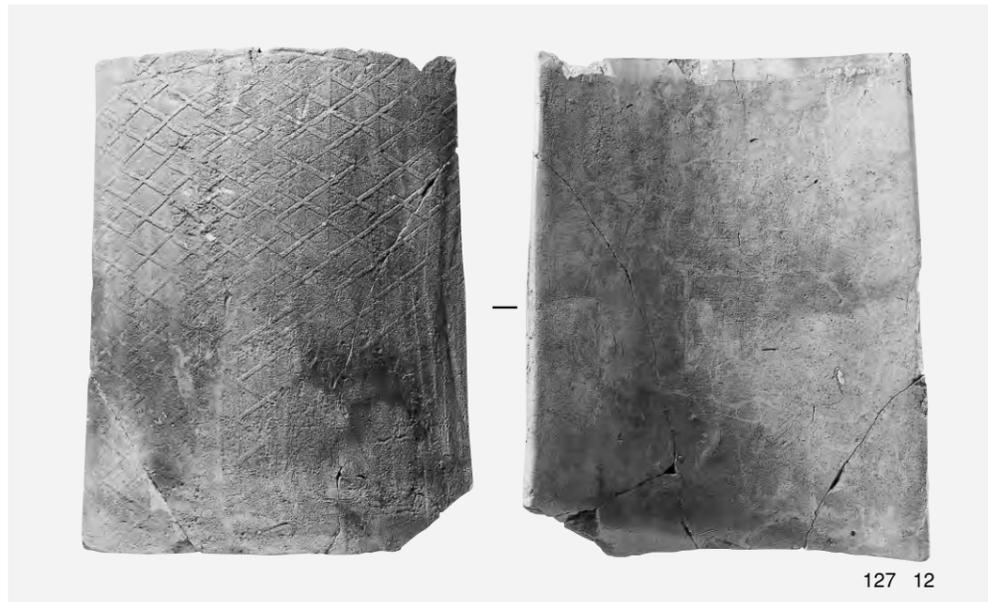
125 平瓦11類B。凸面左半は右上がり、右半はタテの縄叩き目。凹面広端側に布端の痕跡あり。

125 11B



126 平瓦11類C。凸面は広端近くで若干傾斜する縄叩き目。凹面に内叩きの痕跡。

126 11C



127 平瓦12類。凸面に大振りの斜格子叩き目。凹面は丁寧な調整。狭端縁を深くヘラケズリ。

127 12

1:6



128 平瓦7類D。円弧を描く縄叩き目。

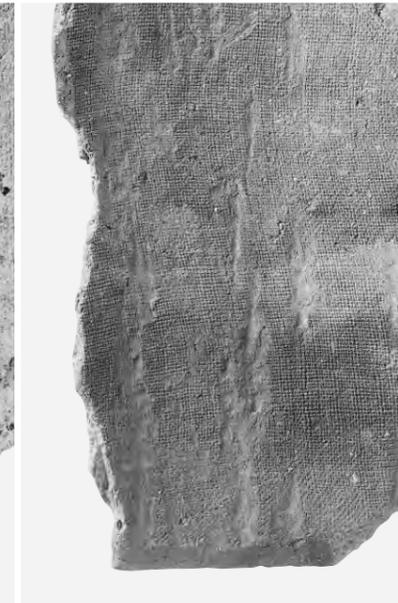
128 7D



3 平瓦10類DIIの内叩き。



1 平瓦7類Cの粘土板合わせ目と内叩き。



4 平瓦11類Cの内叩き。



2 平瓦10類CIIの布端と内叩き。



5 平瓦10類BIの布継ぎ目。



6 平瓦10類CIIの糸切り痕と風蝕痕。

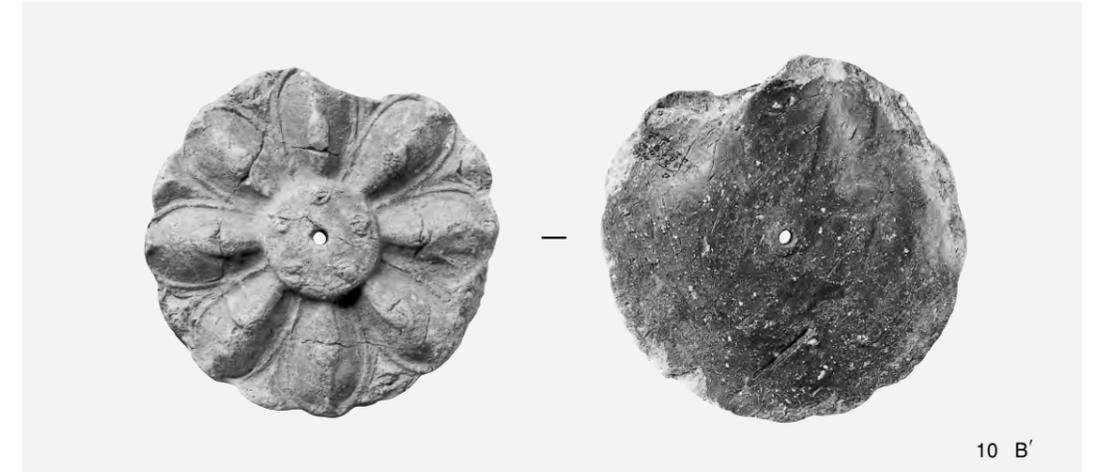
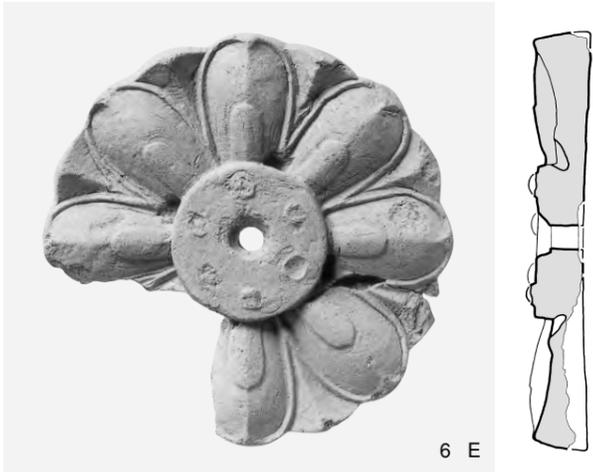
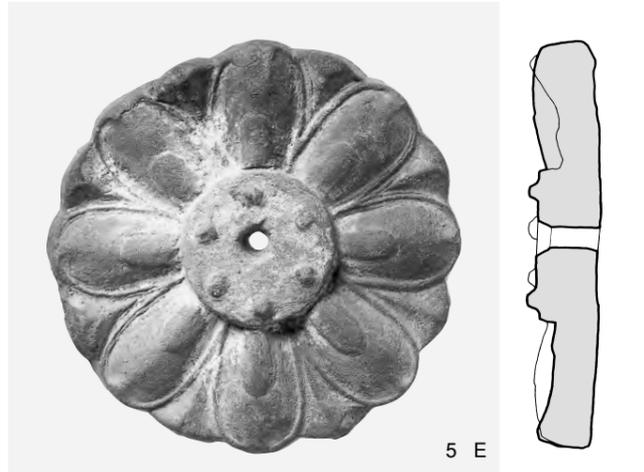
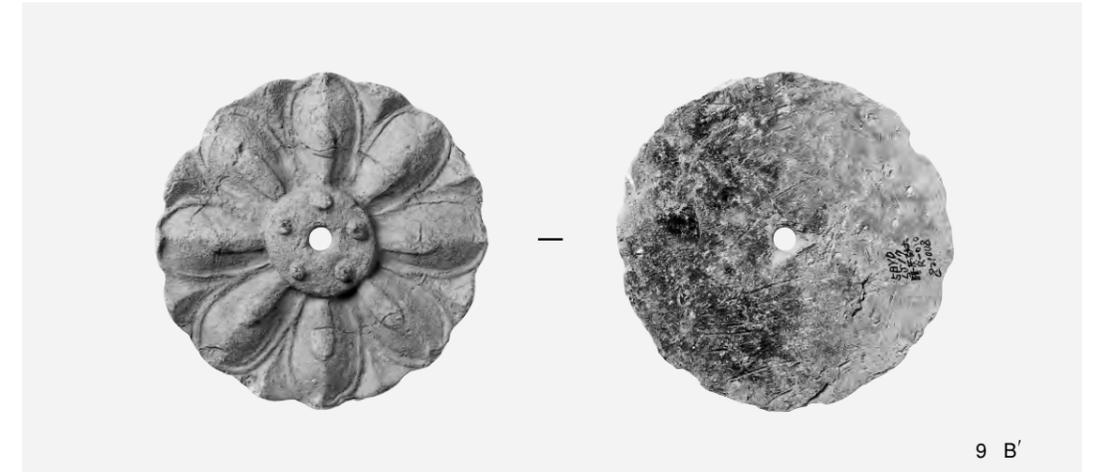
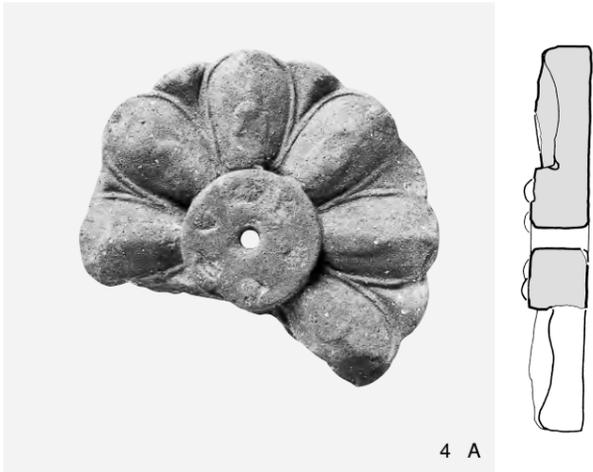
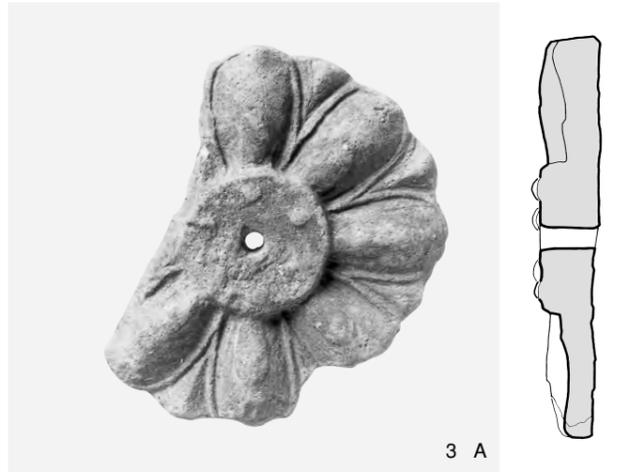
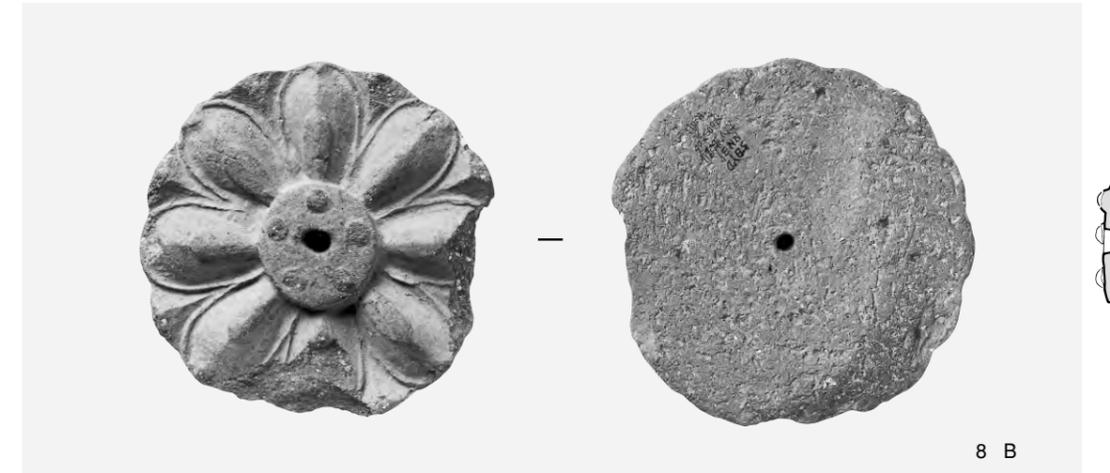
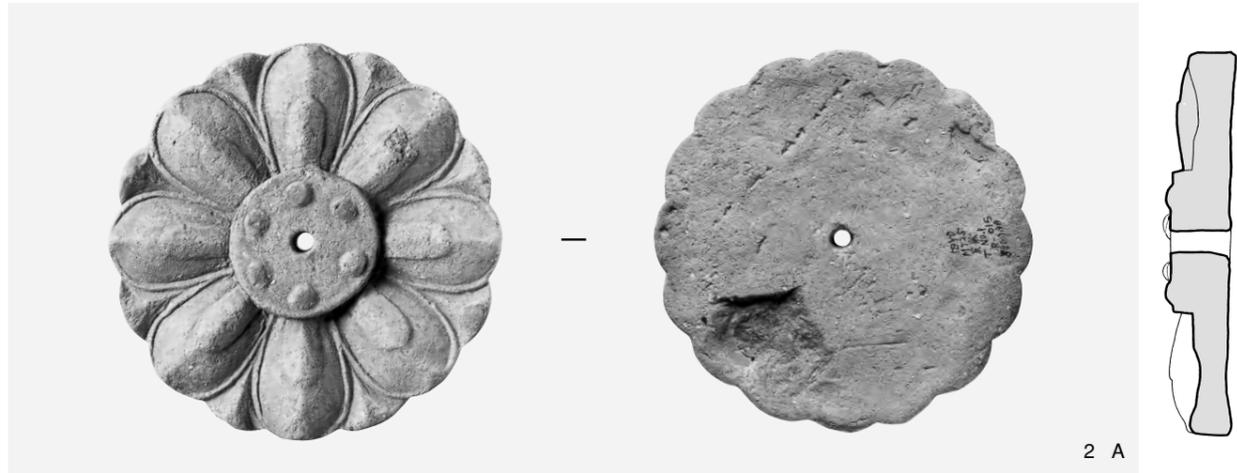
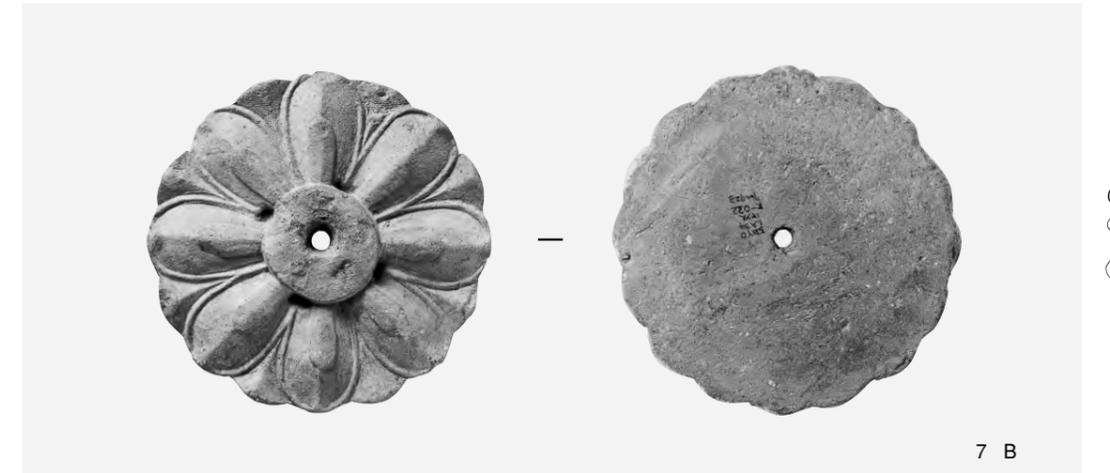
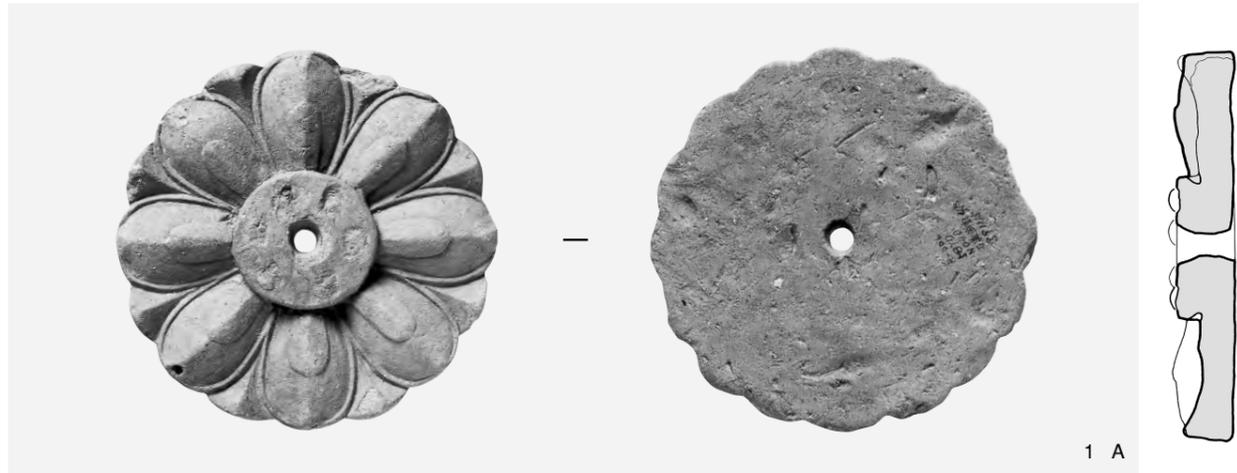


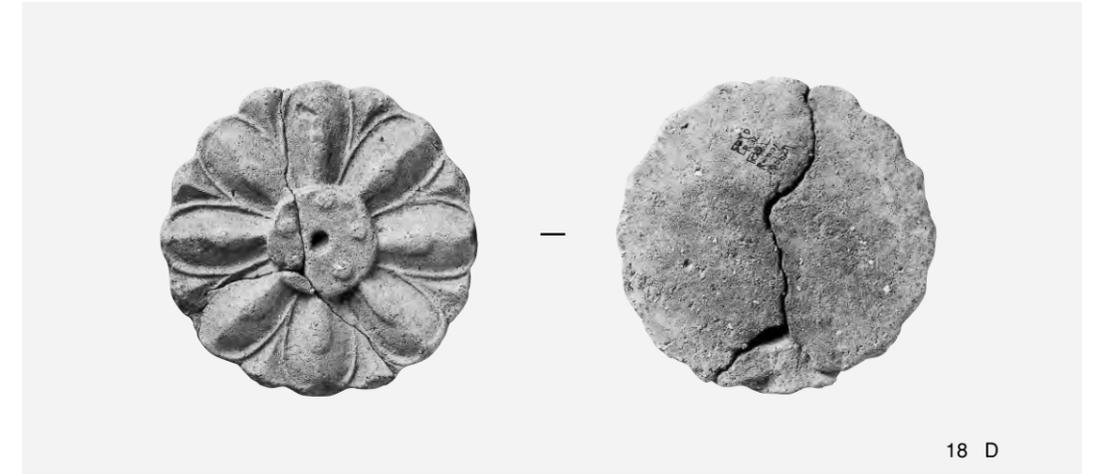
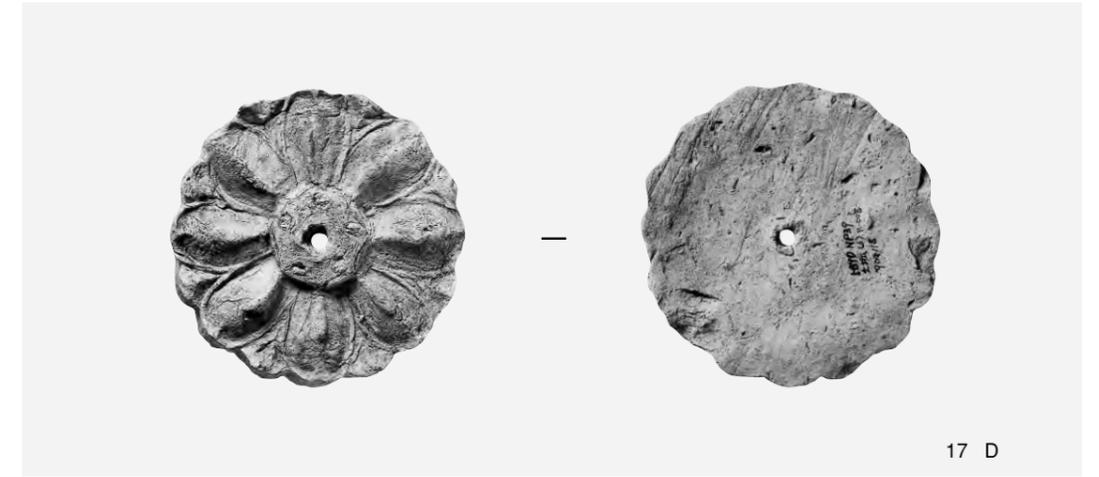
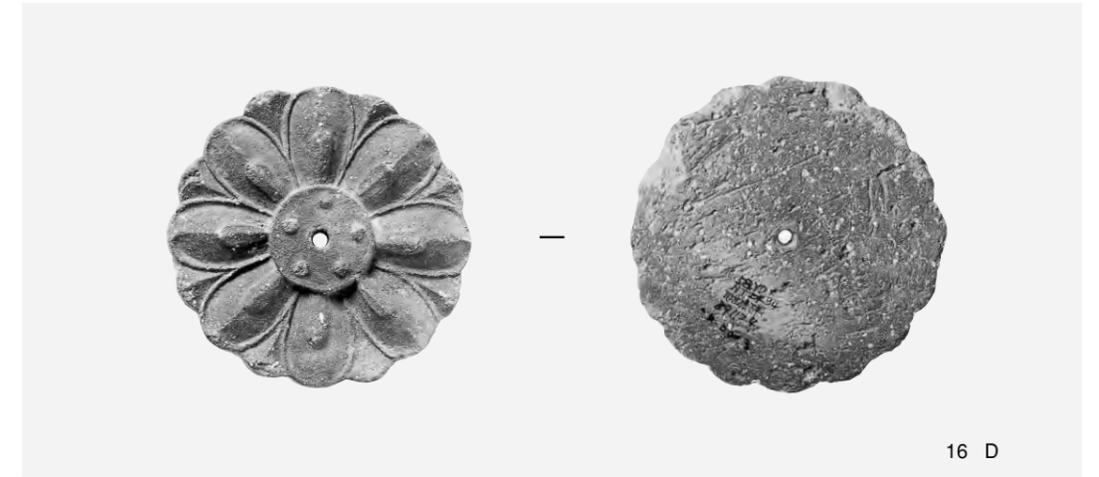
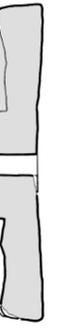
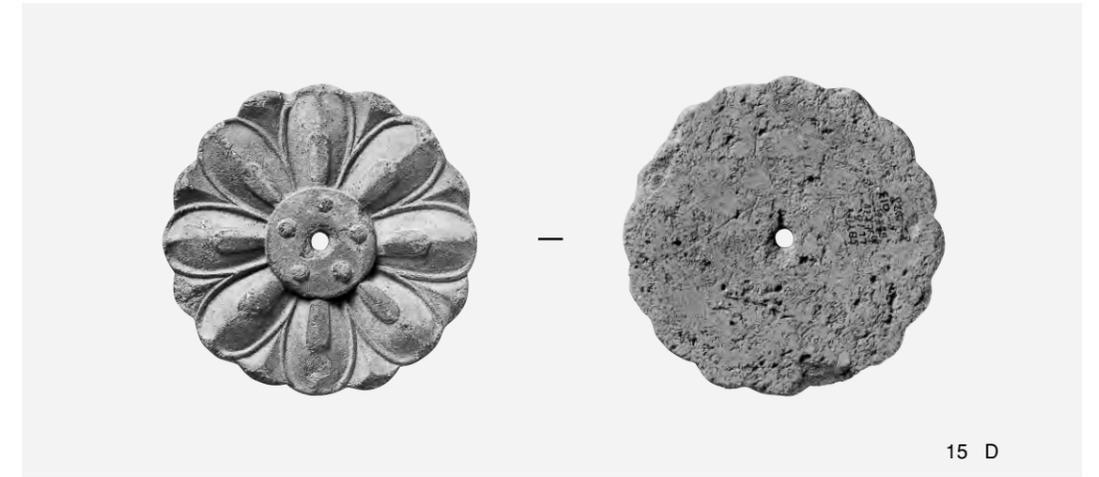
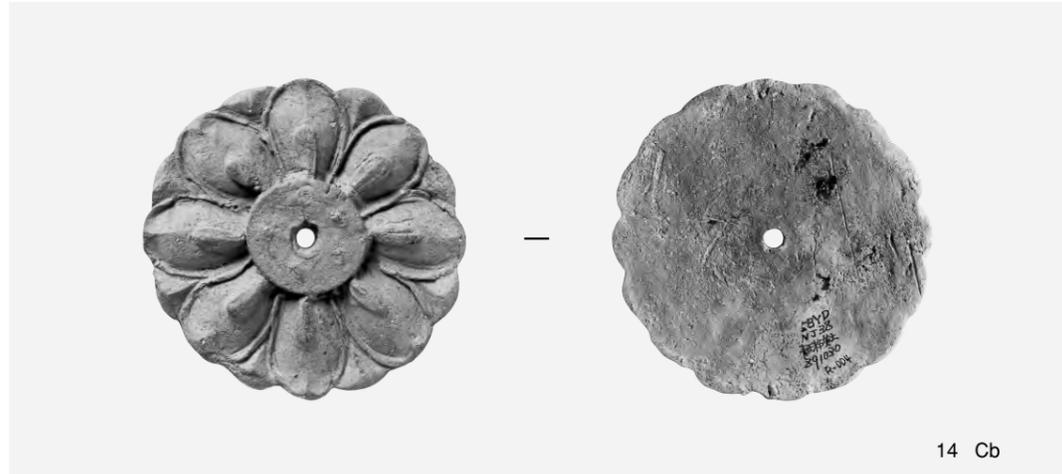
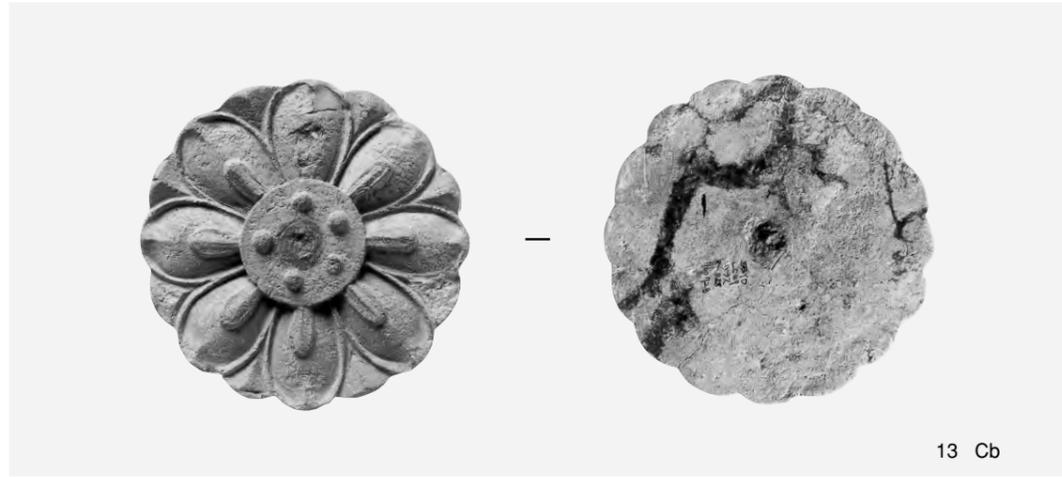
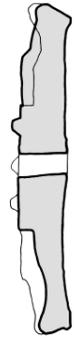
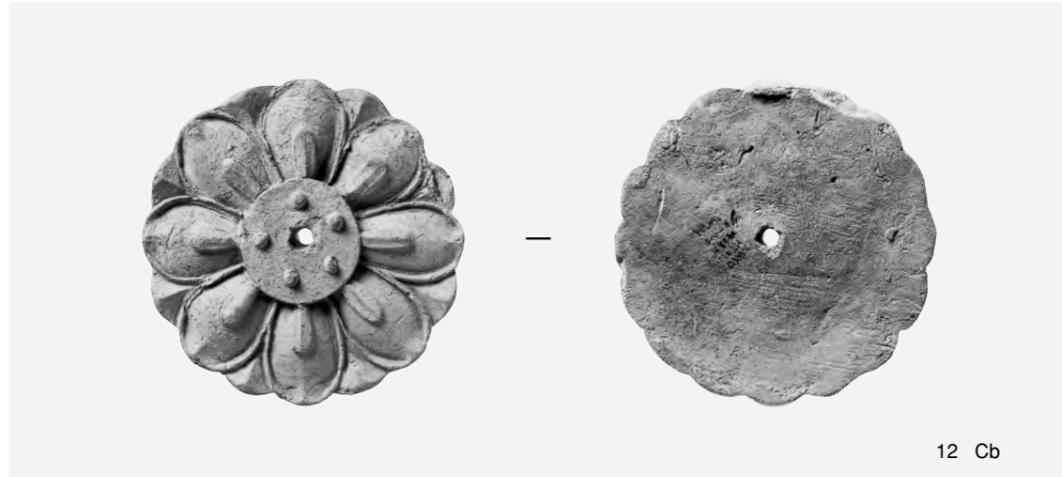
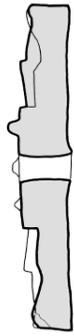
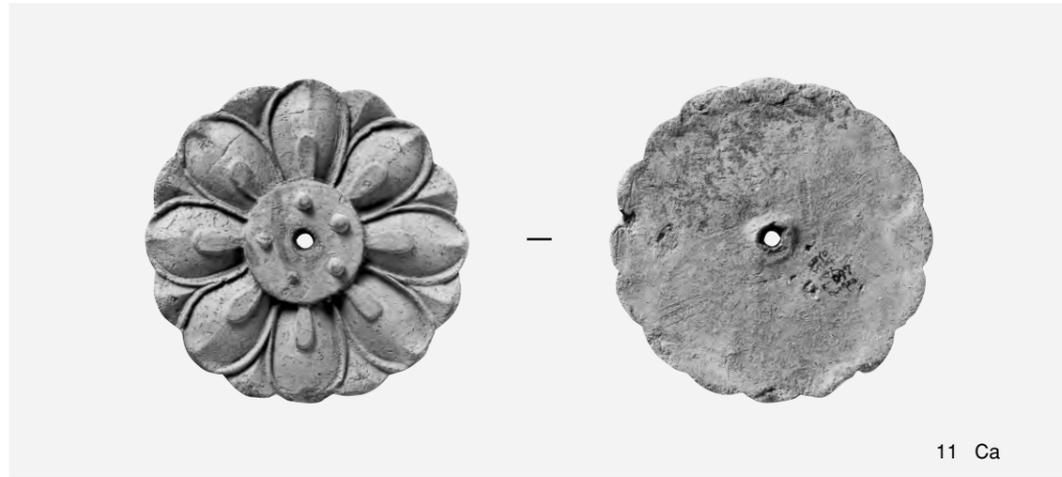
7 11類Bの側面。



8 平瓦12類凹面、叩き目の痕跡。

1:6 (1~5、7・8を除く)







1 深いかしめ穴 (A種)。



2 浅いかしめ穴 (A種)。



3 かしめ穴に錆がつまるもの (B種)。



4 栴型端の粘土のはみだし (B種)。



5 范型と左右分割栴型の合わせ目 (A種)。



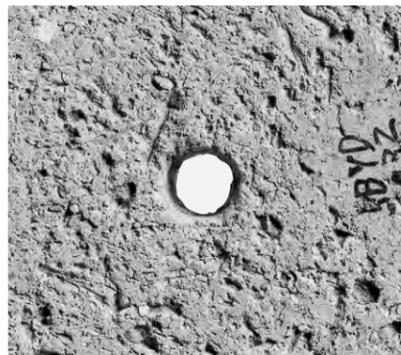
6 范型と栴型の合わせ目 (A種)。



7 裏面の外周に残る風化の跡 (B種)。



8 裏面はナデ調整 (B種)。



9 ケズリ調整のアップ (D種)。



10 ケズリ調整のアップ (B種)。



11 ハケ目調整のアップ (Cb種)。



1 粘土の詰め方 (D種)。



2 粘土の詰め方 (B種)。



3 Cb種 釘孔が2孔のもの。



4 D種 范傷1段階のアップ。



5 B種 側面の突起。



6 B'種 側面の突起。



7 釘孔の断面① (D種)。



7 釘孔の断面① (D種)。



9 釘孔の断面② (B種)。



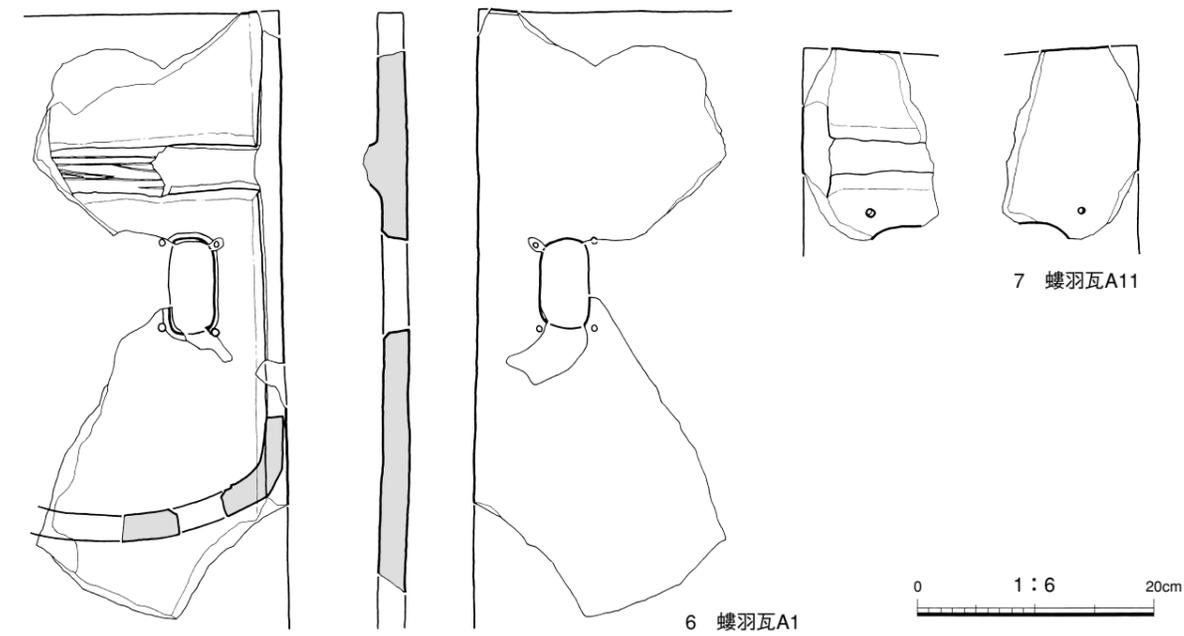
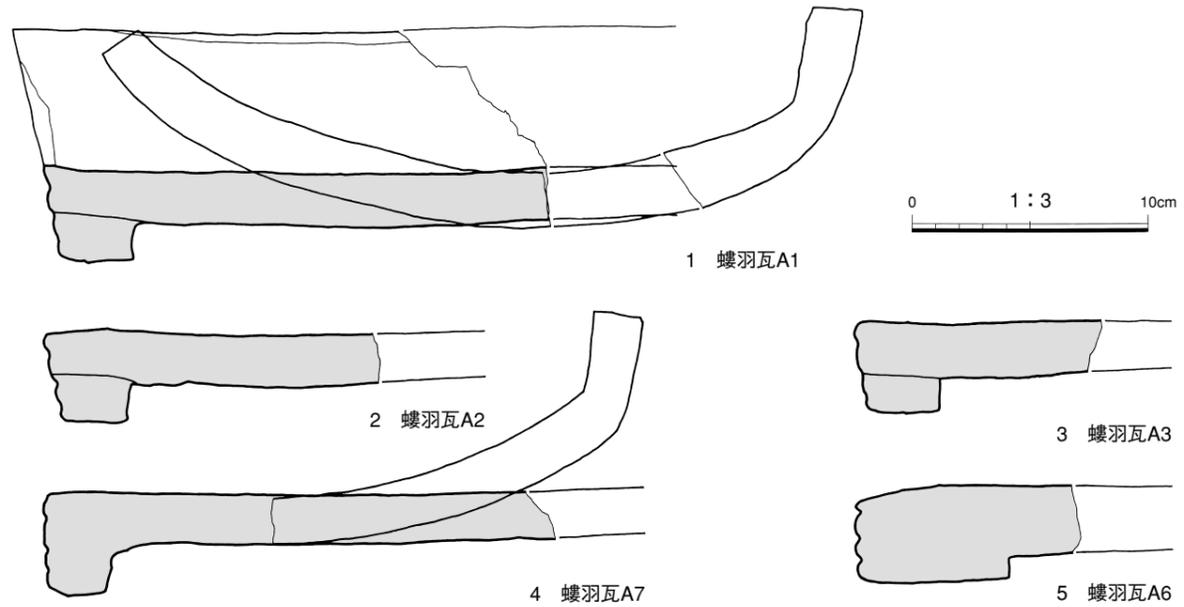
10 釘孔の断面③ (Cb種)。



11 釘孔の断面④ (A種)。



12 釘孔の断面④ (A種)。



1 螻羽瓦A1の狭端部。突帯と方形の穿孔あり。



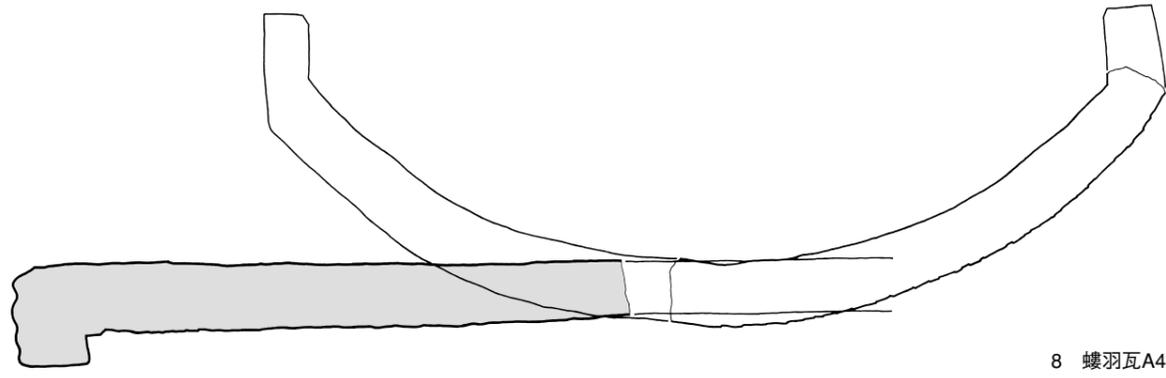
2 孔は隅丸方形、四隅に小孔あり。

1:3 (1・2を除く。6・7は1:6)

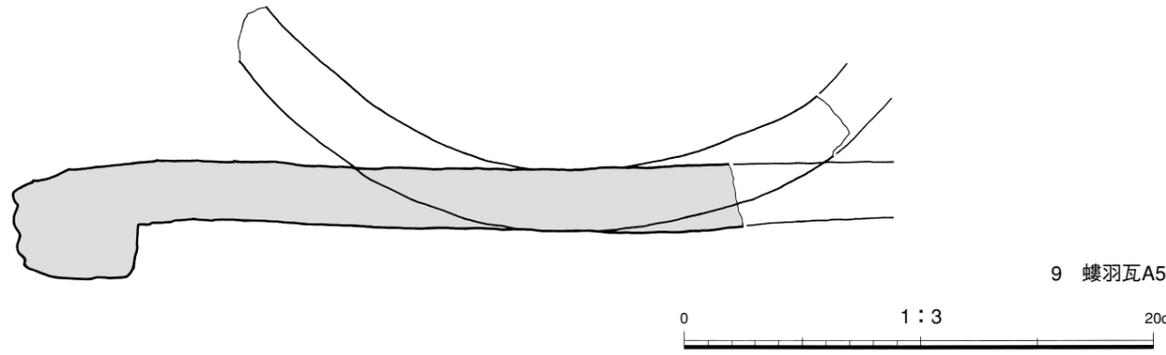


5 螻羽瓦A5

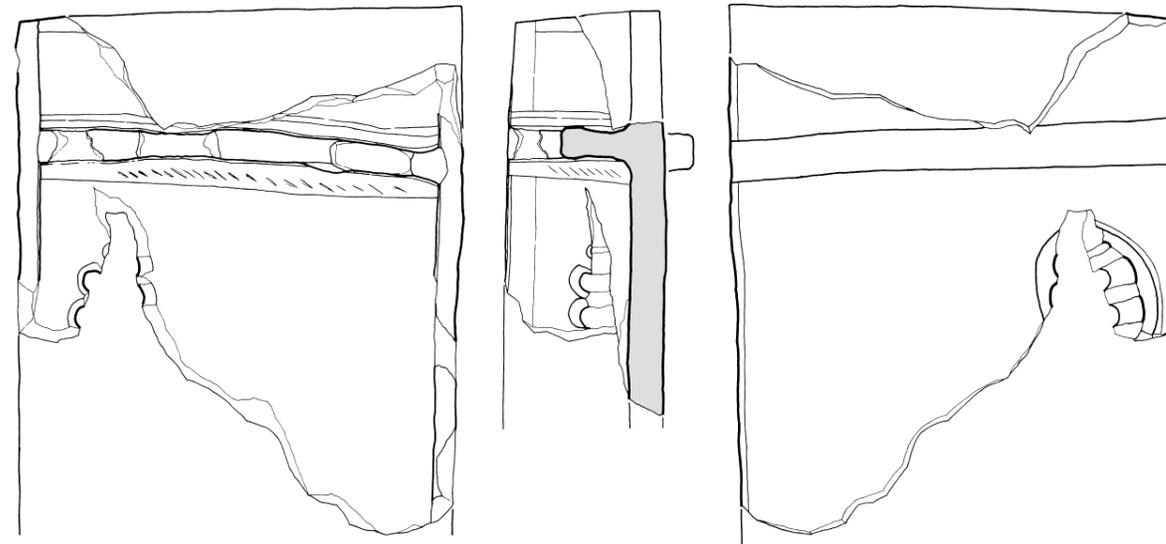
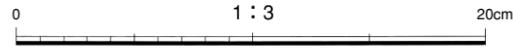
1:3



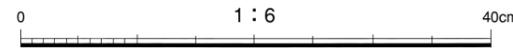
8 蝮羽瓦A4



9 蝮羽瓦A5



10 蝮羽瓦A4・5



8 蝮羽瓦A4



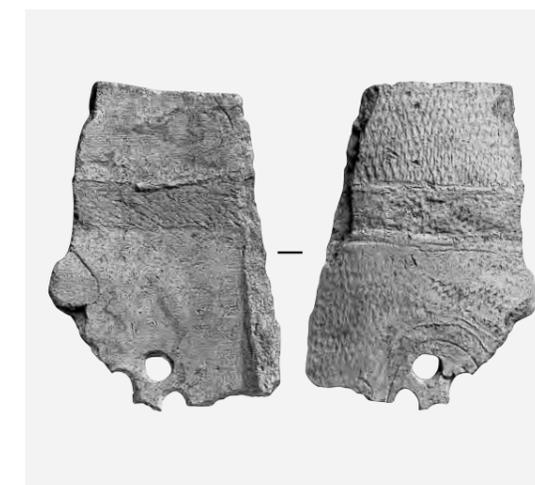
9 蝮羽瓦A5



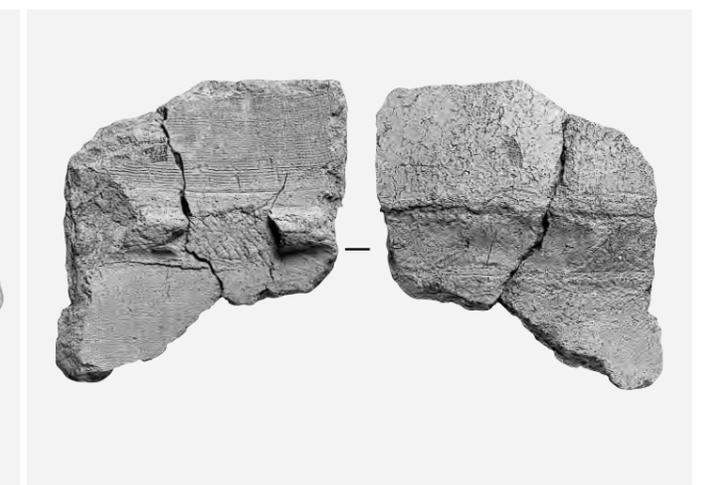
1 蝮羽瓦A4・5の狭端部。凸帯の2箇所に丸い挟り。



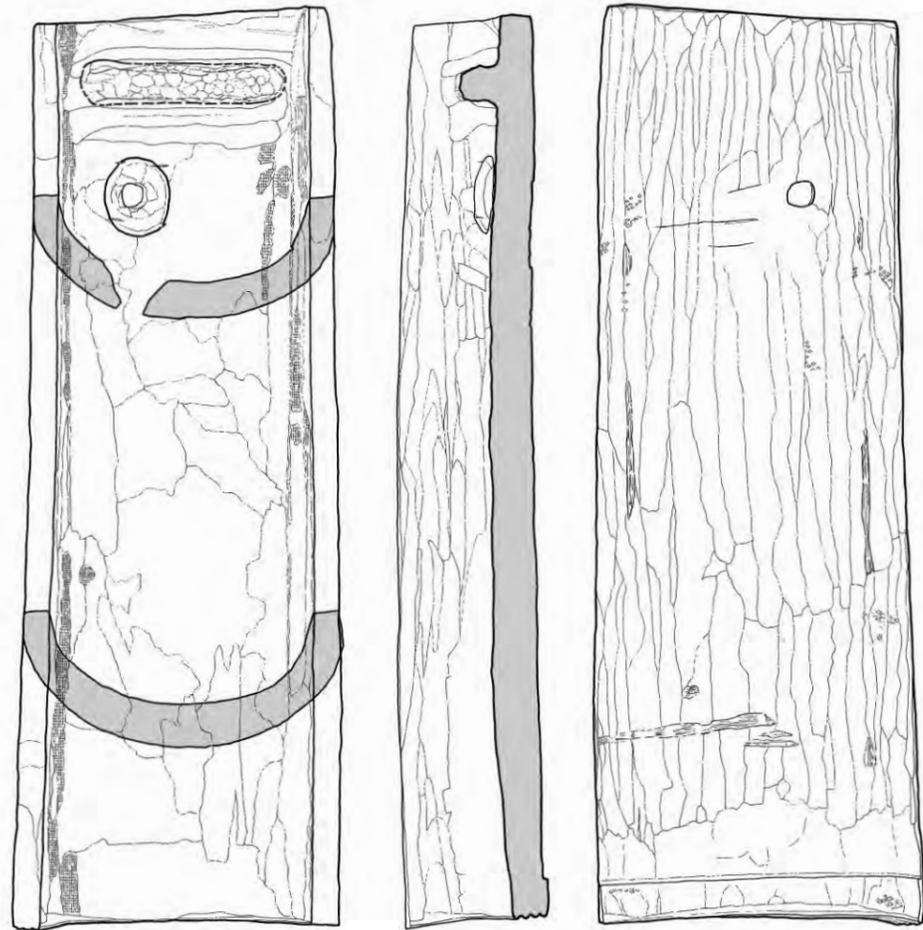
2 その凸面。凸帯の痕跡と周囲に凸帯を巡らせた穿孔部。



3 蝮羽瓦A4・5狭端部。穿孔部の孔は6〜7個。



4 蝮羽瓦A4・5狭端部。凹凸面の凸帯剥離。



11 蝶羽瓦B1



3 実測している様子。美女と蝶羽瓦。



1 蝶羽瓦B1の狭端部。円孔と突帯。円孔に割付線あり。



2 瓦当近くの凸面。頸面に割付線。ほぼ全面ヘラケズリ。



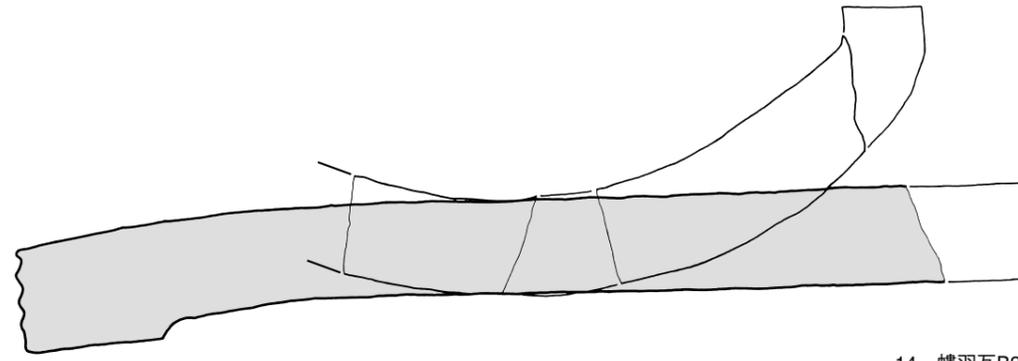
11 蝶羽瓦B1



12 蝶羽瓦B1



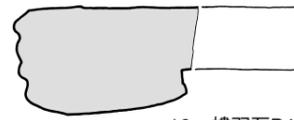
13 蝶羽瓦B1



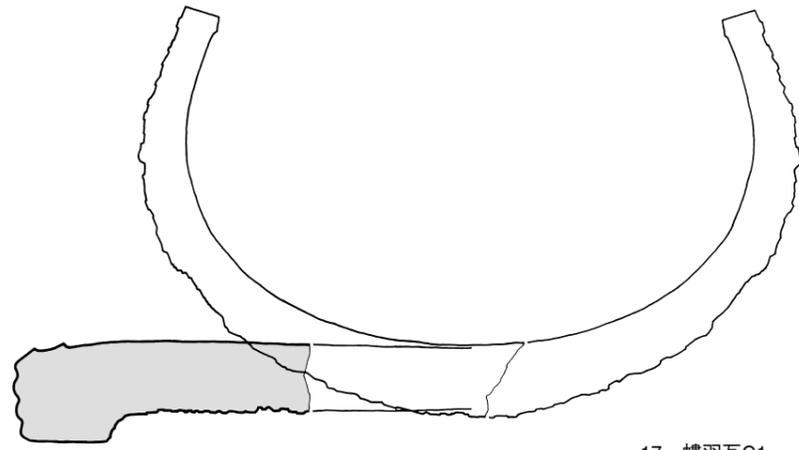
14 螻羽瓦B2



15 螻羽瓦B3



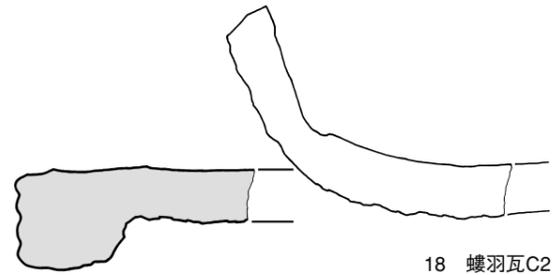
16 螻羽瓦B4



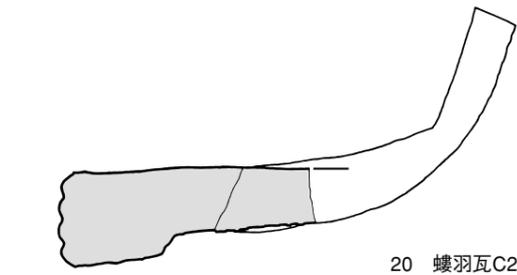
17 螻羽瓦C1



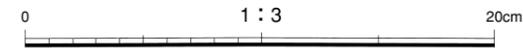
19 螻羽瓦D



18 螻羽瓦C2



20 螻羽瓦C2



1 螻羽瓦C1の狭端部。



2 螻羽瓦C3の狭端部。



3 螻羽瓦C2の狭端部。



14 螻羽瓦B2



15 螻羽瓦B3



16 螻羽瓦B4



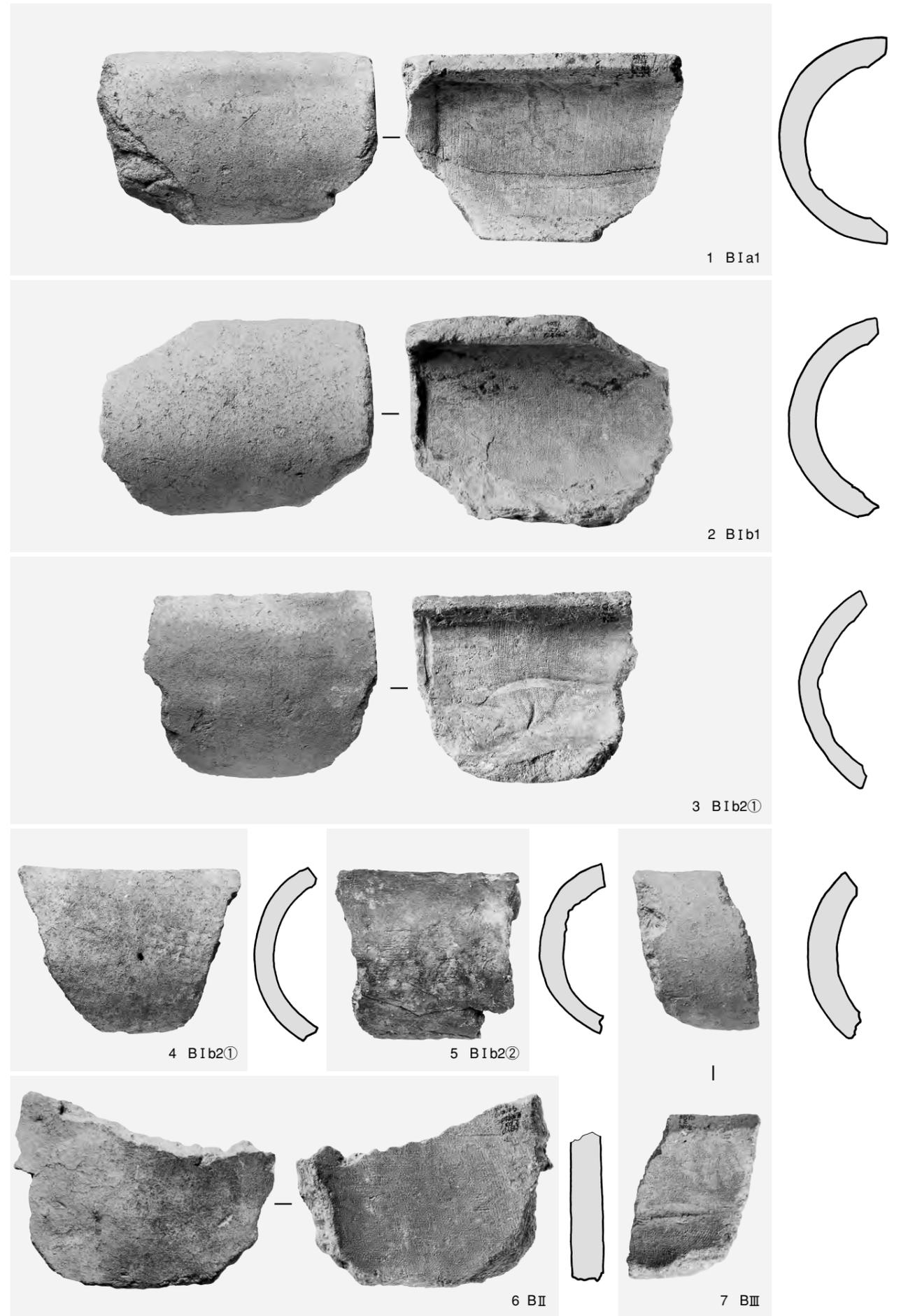
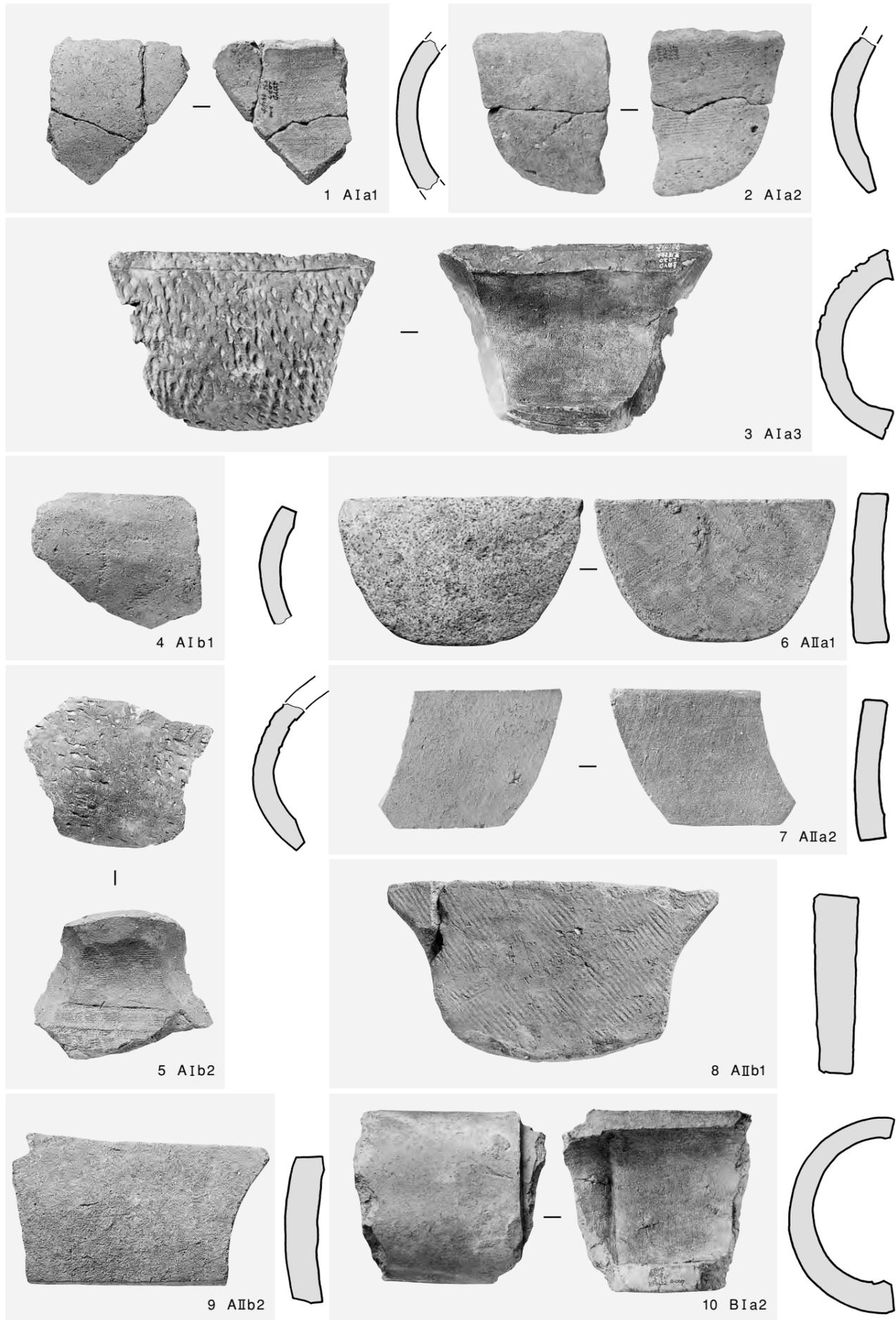
17 螻羽瓦C1



18 螻羽瓦C2



19 螻羽瓦D





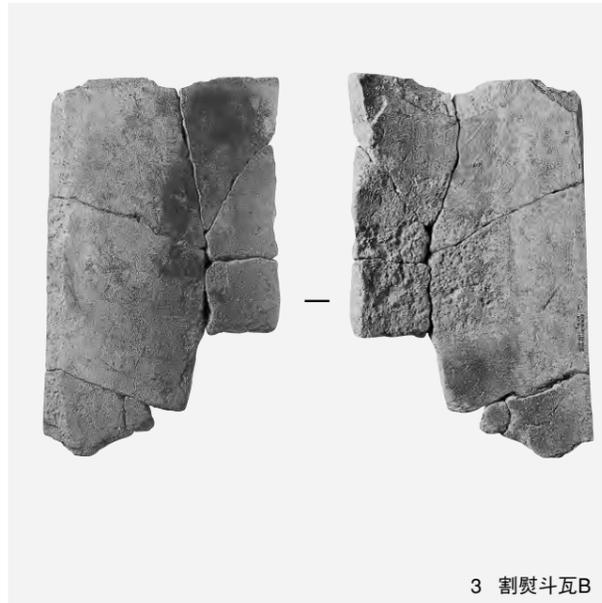
1 割熨斗瓦B

1 割熨斗瓦B。粘土板合わせ目Zで割った例。



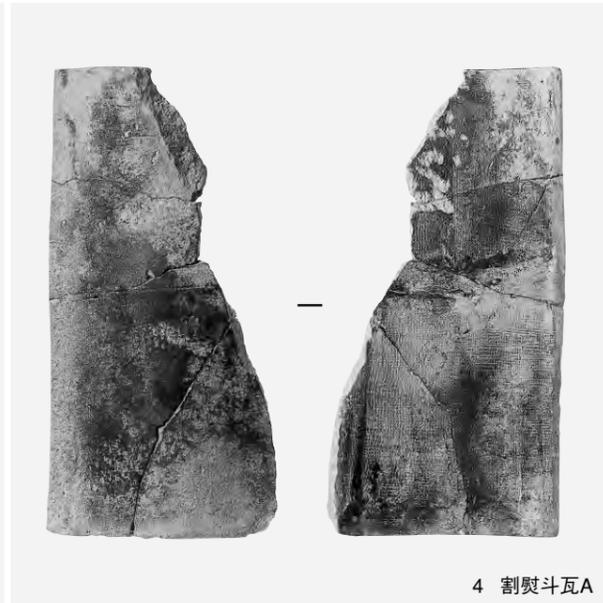
2 割熨斗瓦B

2 割熨斗瓦B。風蝕痕が幅広の例。

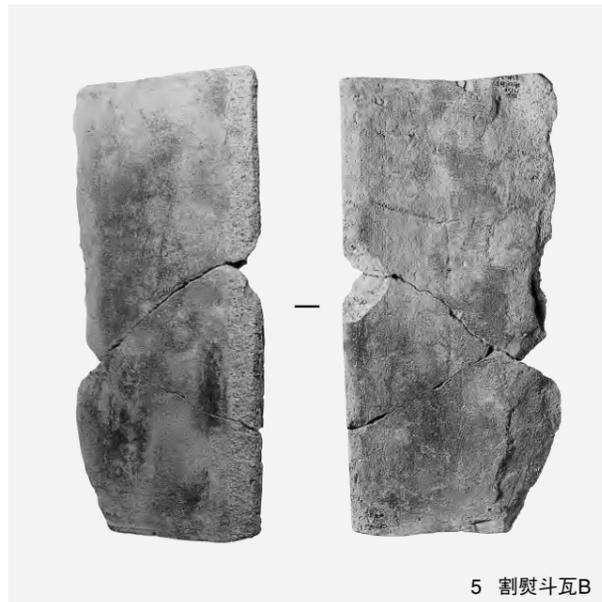


3 割熨斗瓦B

3・4 割熨斗瓦B。凹面にも風蝕痕。平瓦として使用ののち熨斗瓦に転用した例。

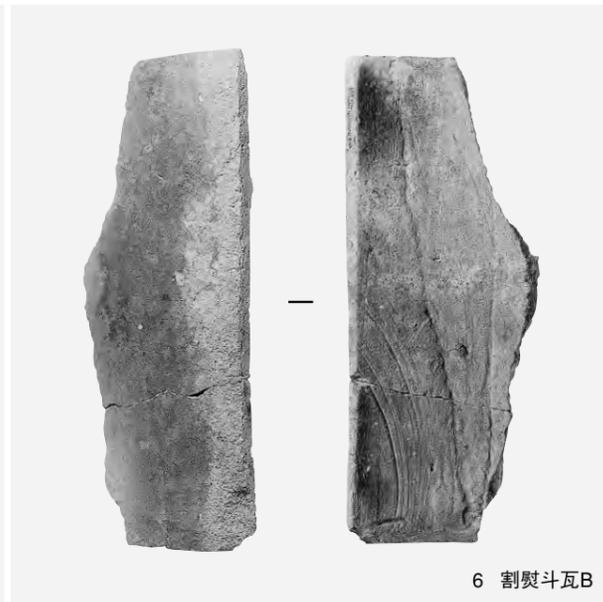


4 割熨斗瓦A



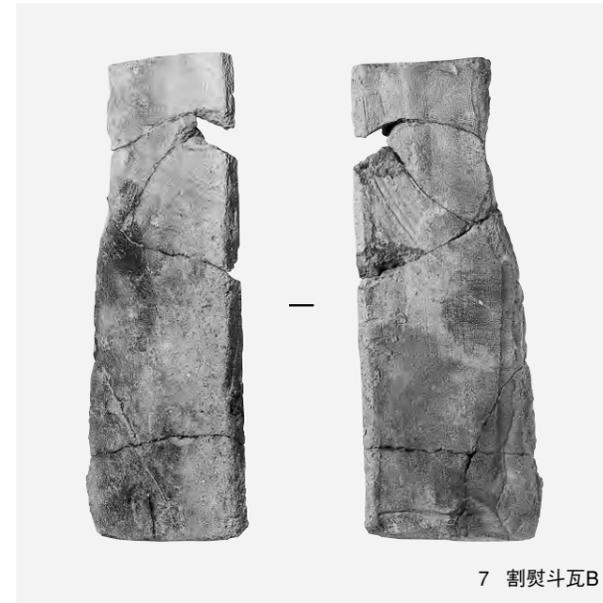
5 割熨斗瓦B

5 割熨斗瓦B。風蝕痕。



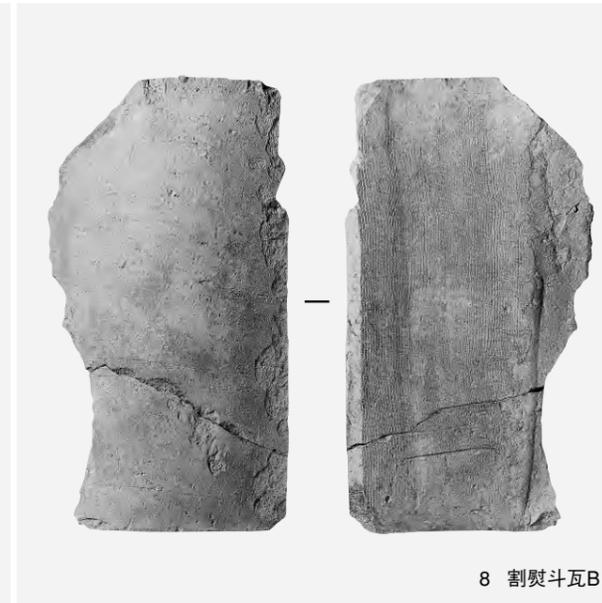
6 割熨斗瓦B

6 割熨斗瓦B。幅広の風蝕痕。



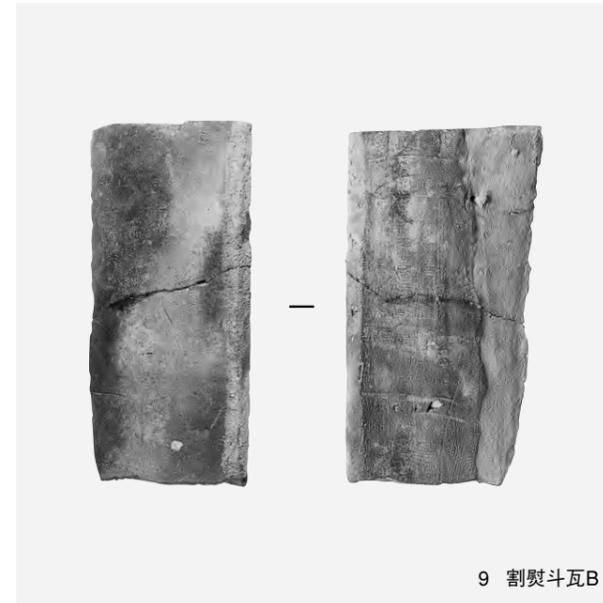
7 割熨斗瓦B

7 割熨斗瓦B。幅8cmほどの風蝕痕。



8 割熨斗瓦B

8 割熨斗瓦B。瓦の幅は合わせ目まかせ。



9 割熨斗瓦B

9 割熨斗瓦B。粘土板合わせ目Zで分割。



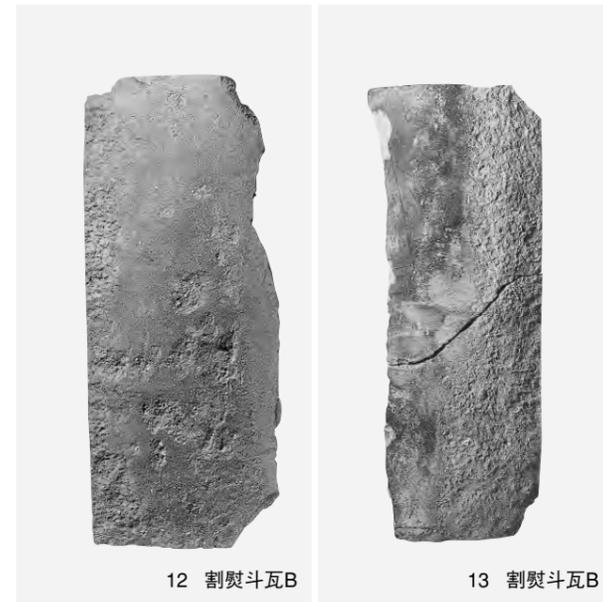
10 割熨斗瓦B

10 粘土板合わせ目Sで分割。



11 割熨斗瓦B

11 風蝕痕と葺き土。



12 割熨斗瓦B

12 風蝕痕。



13 割熨斗瓦B

13 幅広の風蝕痕。



14 割熨斗瓦B

14 不整形な割熨斗瓦B。



15 割熨斗瓦C

15 割熨斗瓦C。風蝕痕不明瞭。



16 割熨斗瓦A

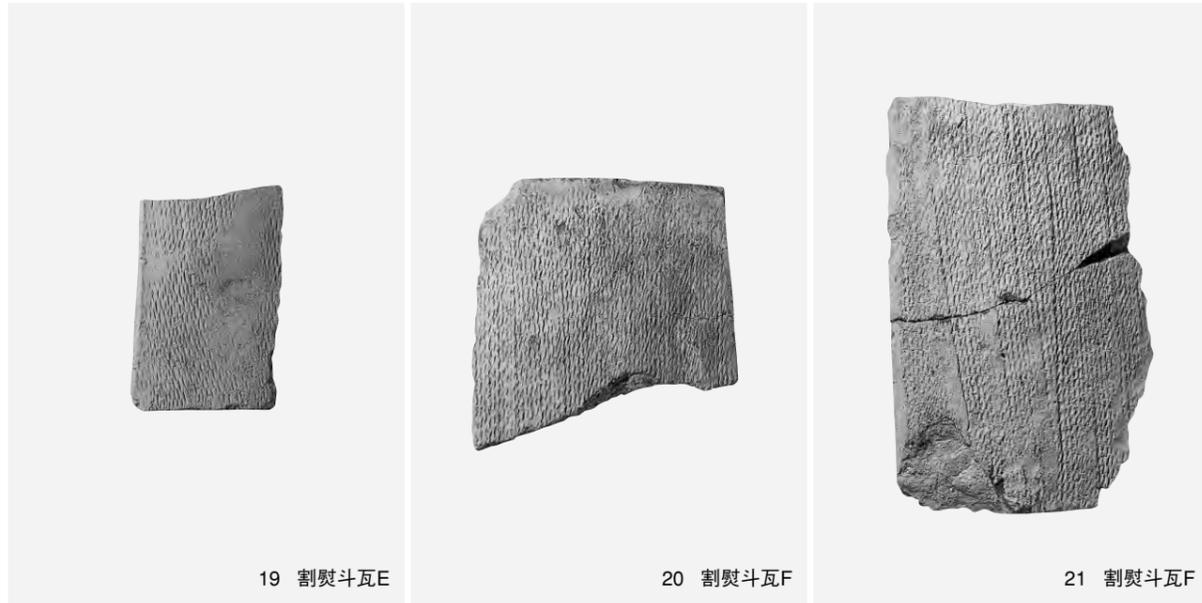
17 割熨斗瓦D

18 割熨斗瓦D

16 割熨斗瓦A。側面に風蝕痕。

17 割熨斗瓦D。側面に風蝕痕。

18 割熨斗瓦D。側面に風蝕痕。



19 割熨斗瓦E

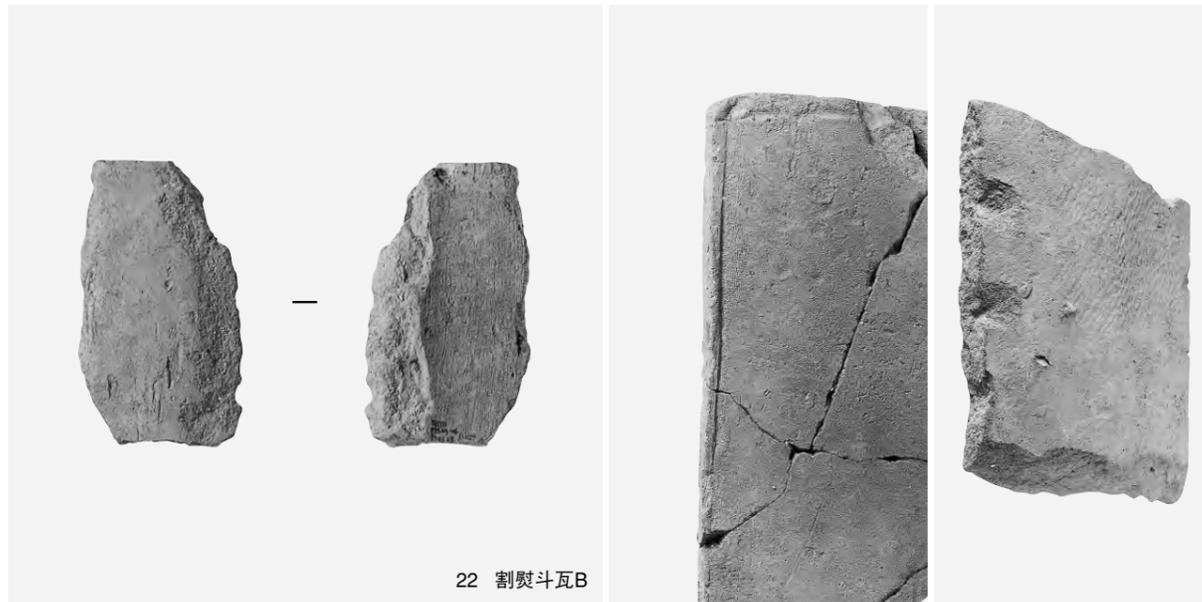
20 割熨斗瓦F

21 割熨斗瓦F

19 割熨斗瓦E。平瓦11類を加工。

20 割熨斗瓦F。平瓦10類Bを加工。

21 割熨斗瓦F。平瓦10類Aを加工。

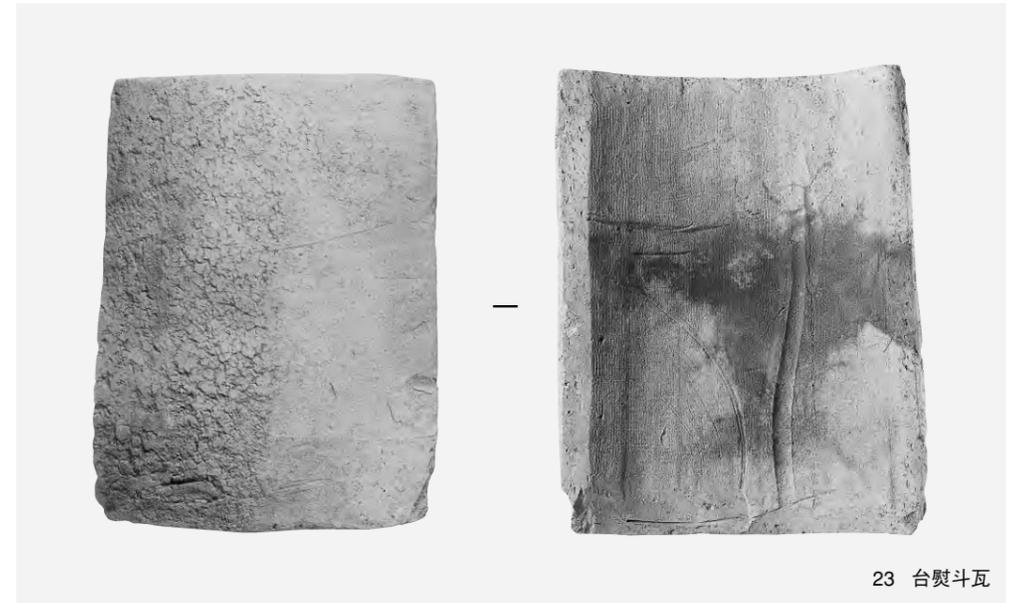


22 割熨斗瓦B

1 割熨斗瓦B凸面の凹型台痕跡。

2 割熨斗瓦Eの半割面細部。

22 割熨斗瓦Bで半割面に風蝕痕がある例。



23 台熨斗瓦

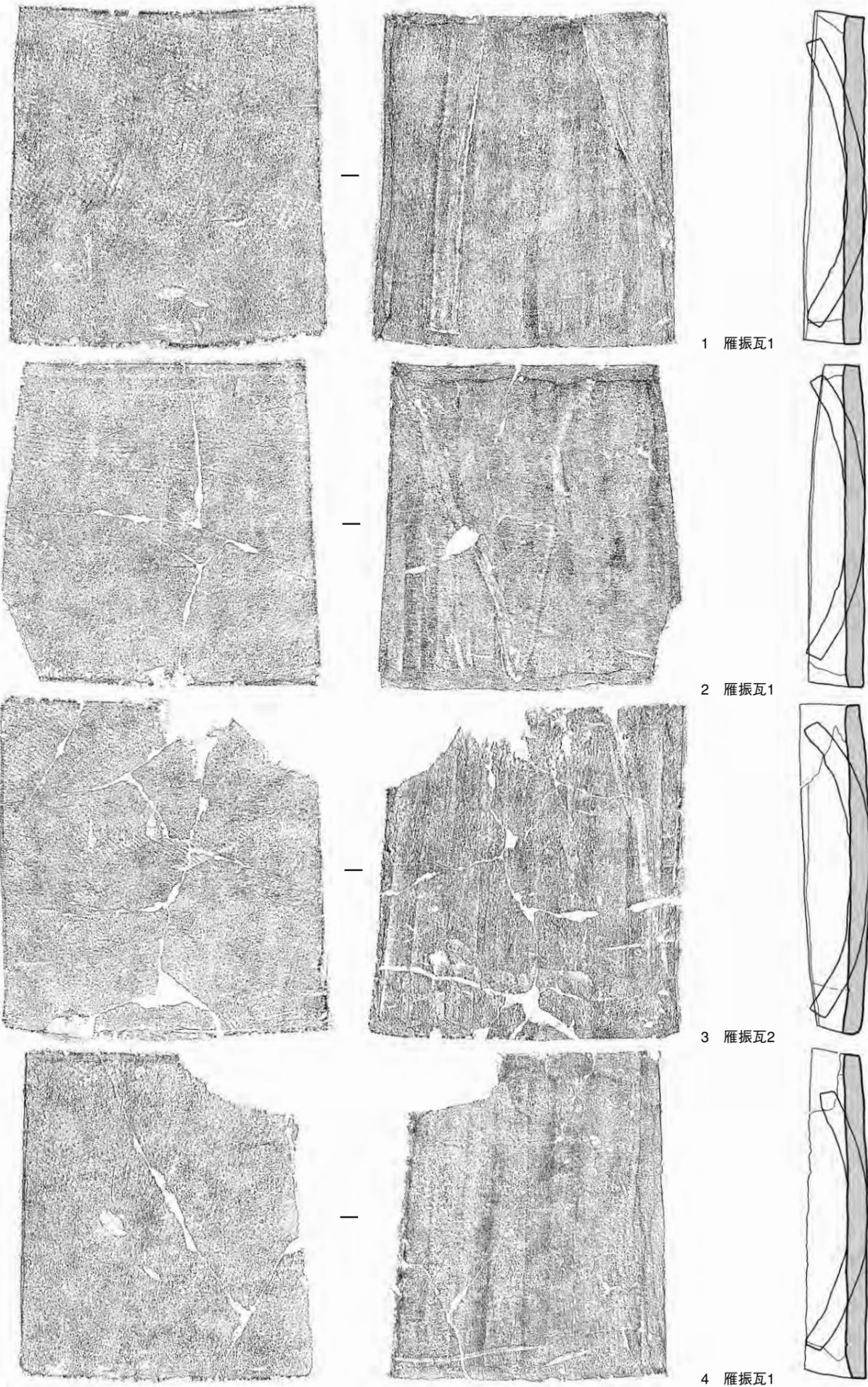
23 台熨斗瓦。凸面のタテ半分は風蝕痕。凹面に葺土。



1 熨斗瓦各種。



2 回廊熨斗積の復元。



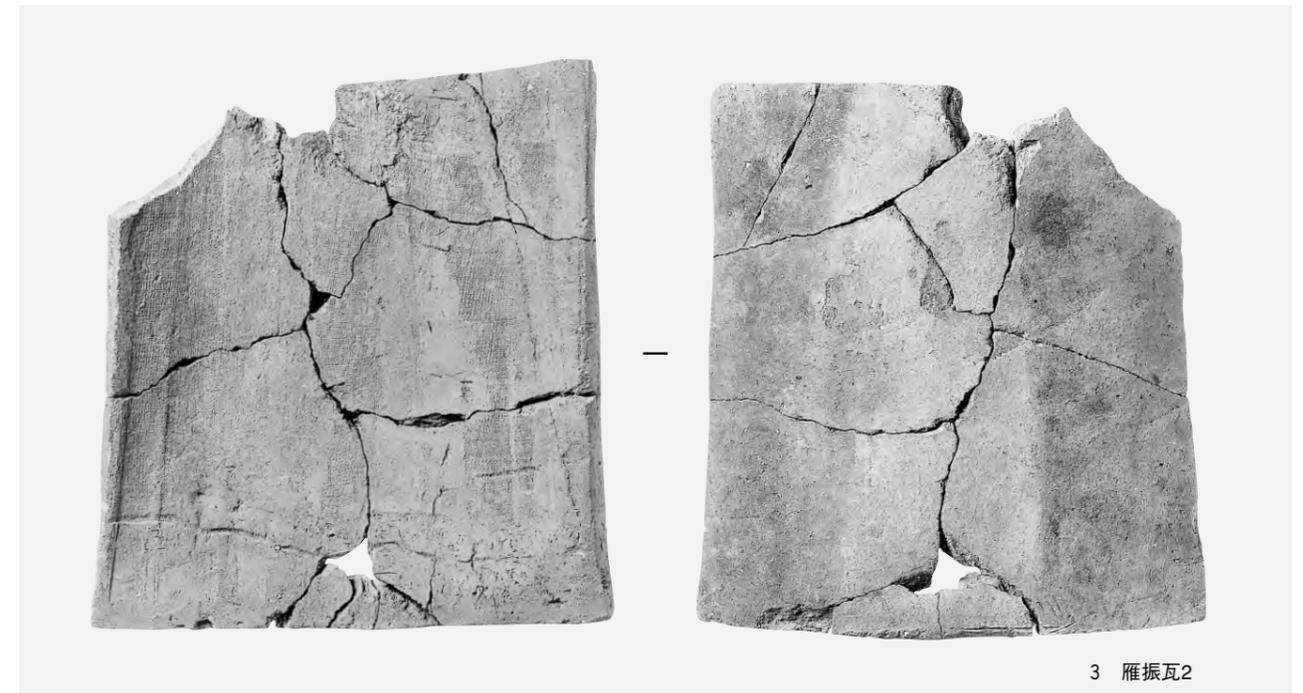
1 雁振瓦1

2 雁振瓦1

3 雁振瓦2

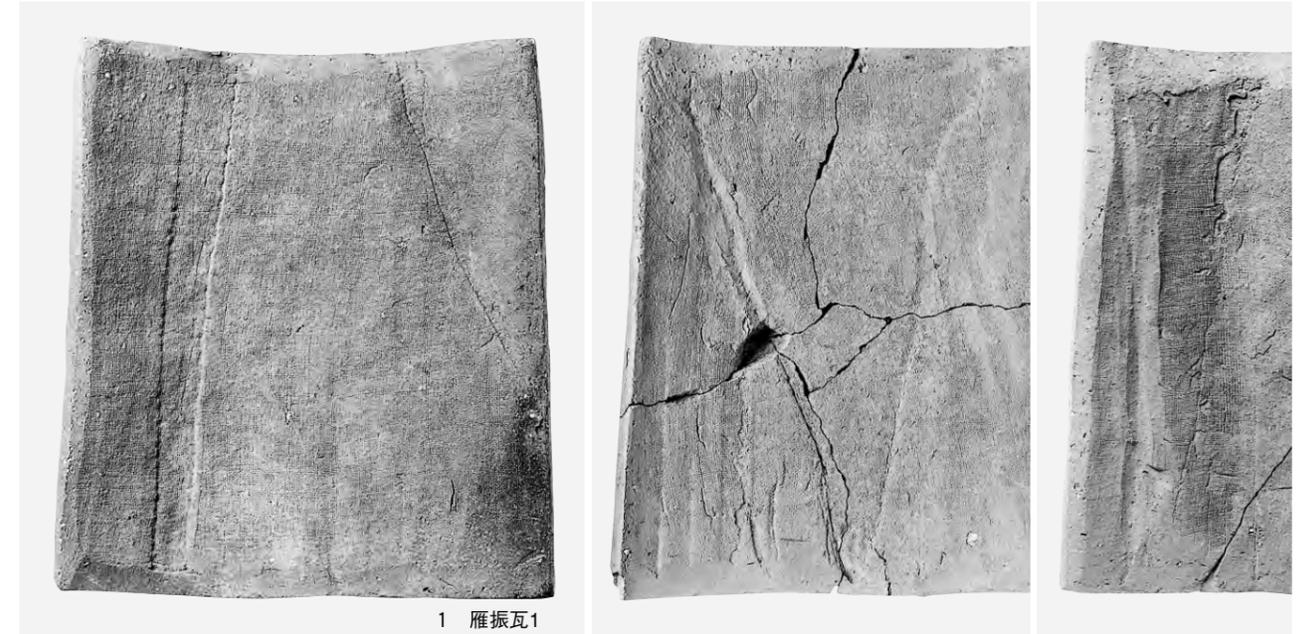
4 雁振瓦1

1:6



3 雁振瓦2

3 雁振瓦2。凸面の中央に葺土の痕跡が明瞭に残る。

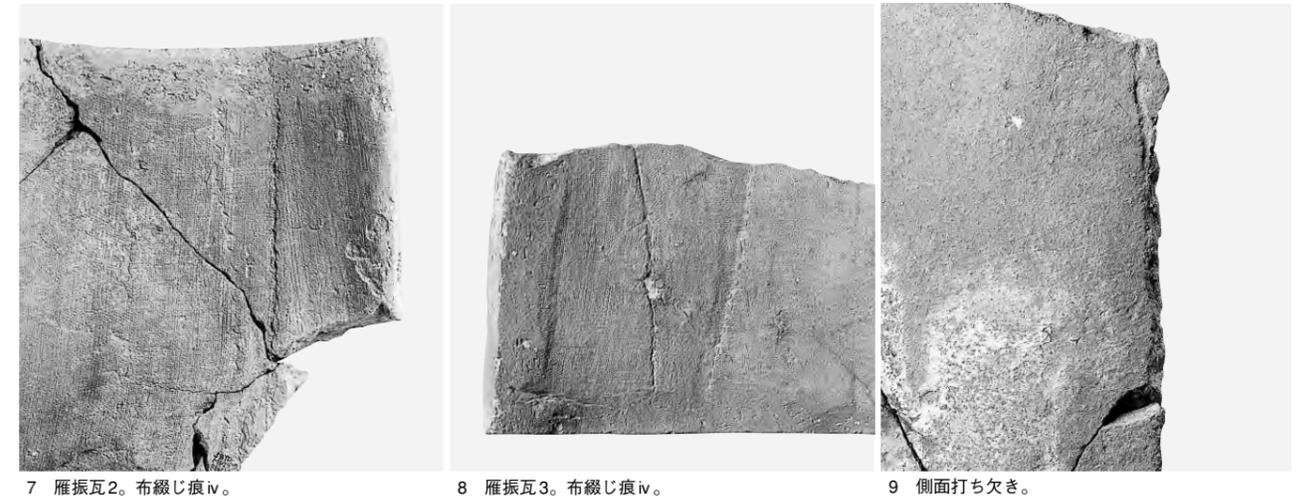


1 雁振瓦1

5 雁振瓦1。凹面の布綴じ痕 i。

6 布綴じ痕 iii。

1 雁振瓦1。凹面の布綴じ痕 ii。

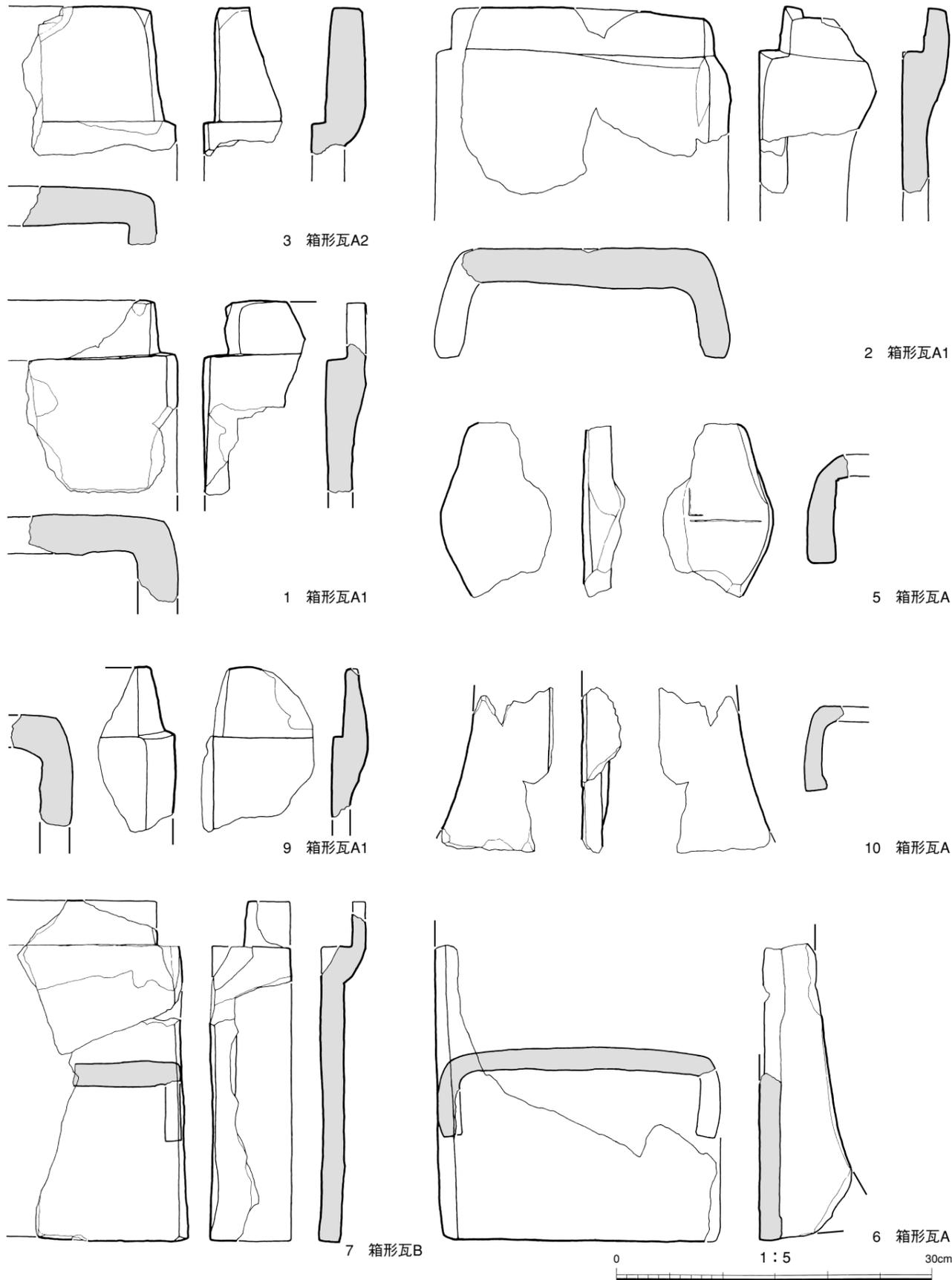


7 雁振瓦2。布綴じ痕 iv。

8 雁振瓦3。布綴じ痕 v。

9 側面打ち欠き。

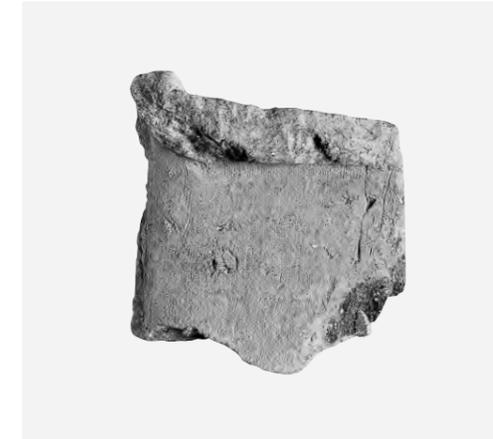
1:5 (7・9を除く)



1 箱形瓦A1の玉縁部凹面。ナデ調整。



2 箱形瓦A1の玉縁部外観。玉縁が短い。側辺波形。



3 箱形瓦A2の玉縁部凹面。不調整。



4 箱形瓦A2の玉縁部外観。玉縁が長い。端部に斜格子叩き目。



5 箱形瓦A。側辺波形。凹面に割付線。



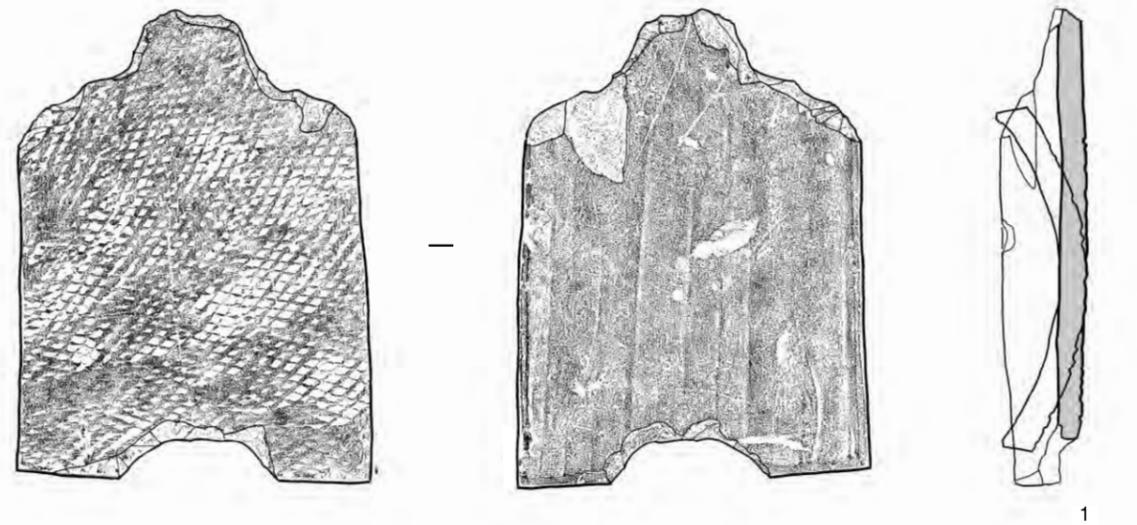
6 箱形瓦Aの広端部。側辺波形。



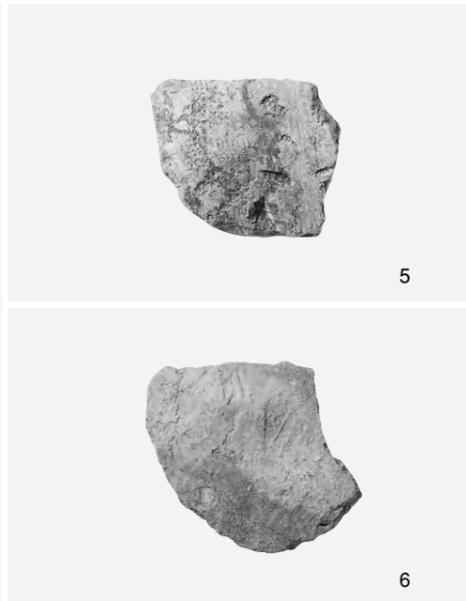
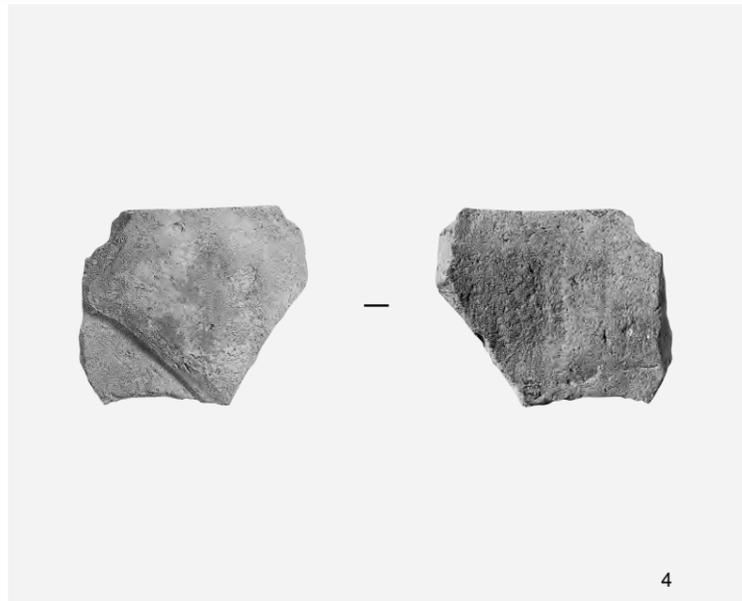
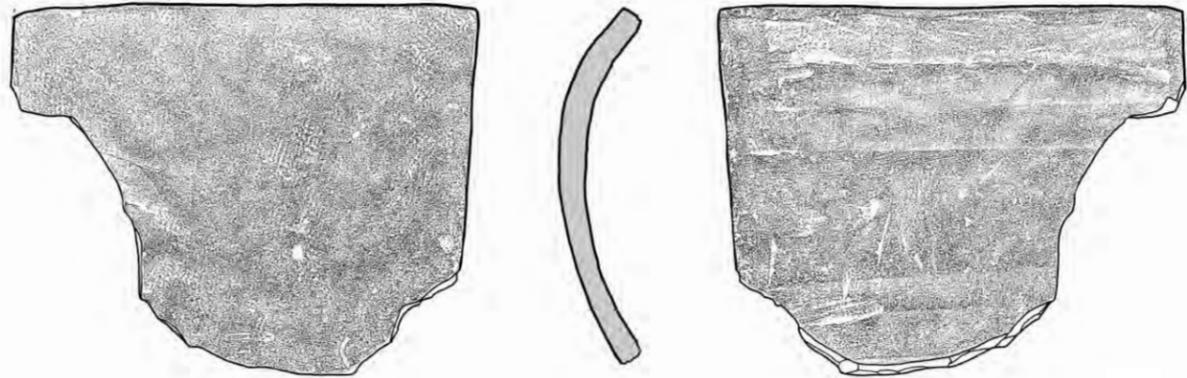
7 箱形瓦B。玉縁部凹面。布縫じ合わせあり。



8 箱形瓦B外観。玉縁短い。側辺は直線。

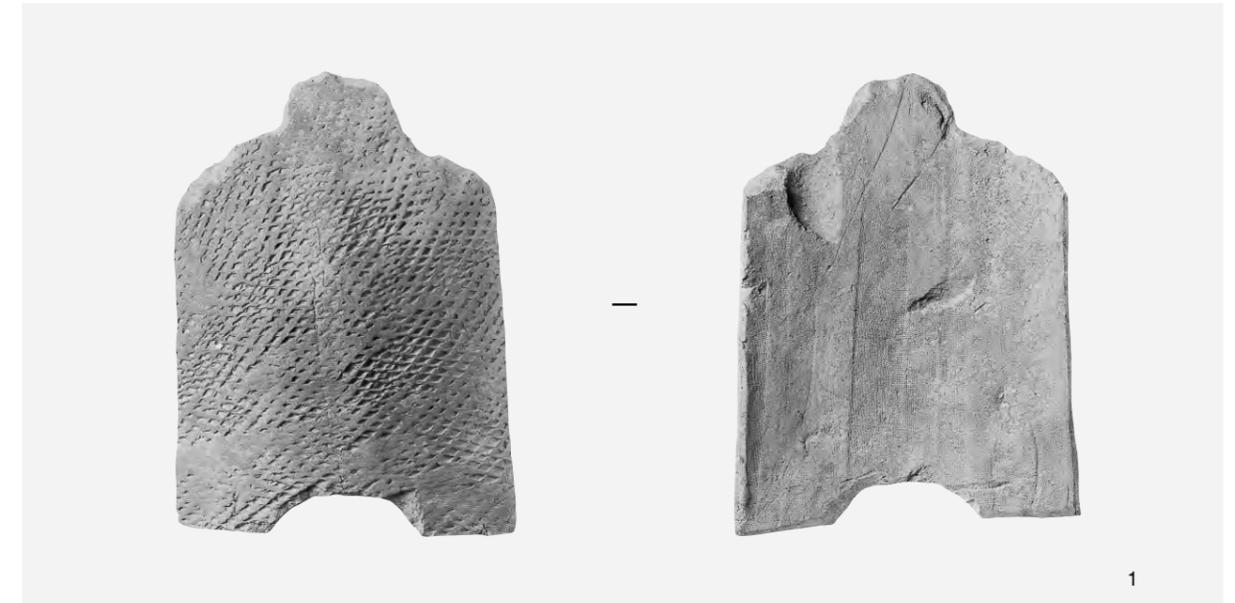


0 1:6 40cm

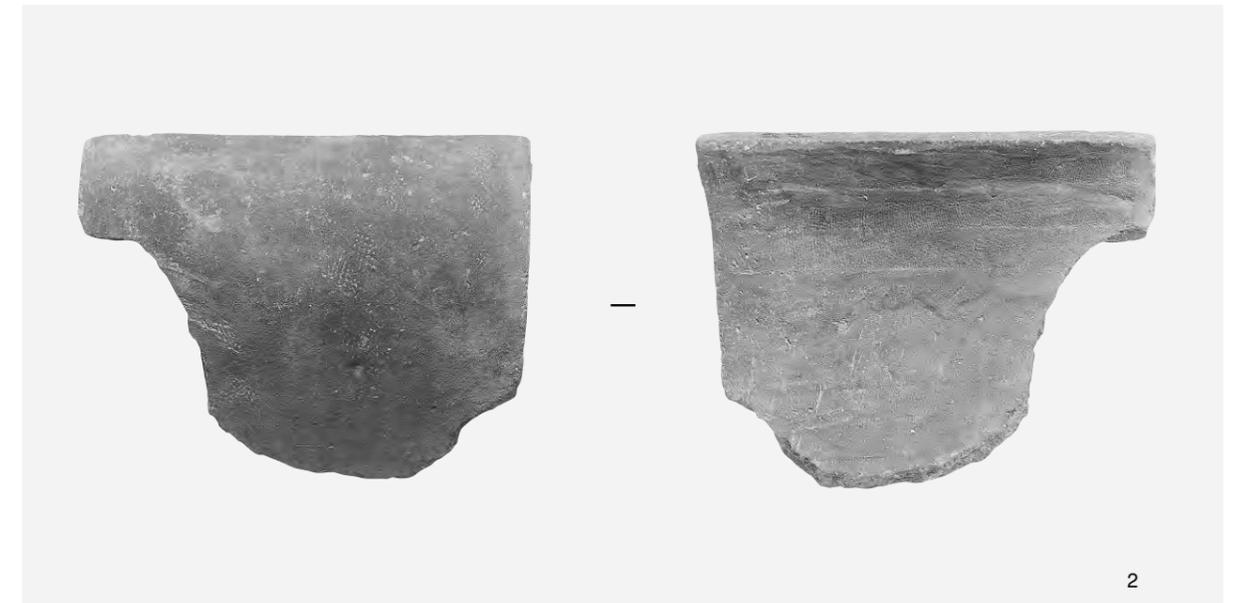


4 狭端とは斜めに段差を設けた平瓦。凹面に風蝕痕跡。  
1 鬼瓦 2 大型面戸瓦 4~6 用途不明  
1:6

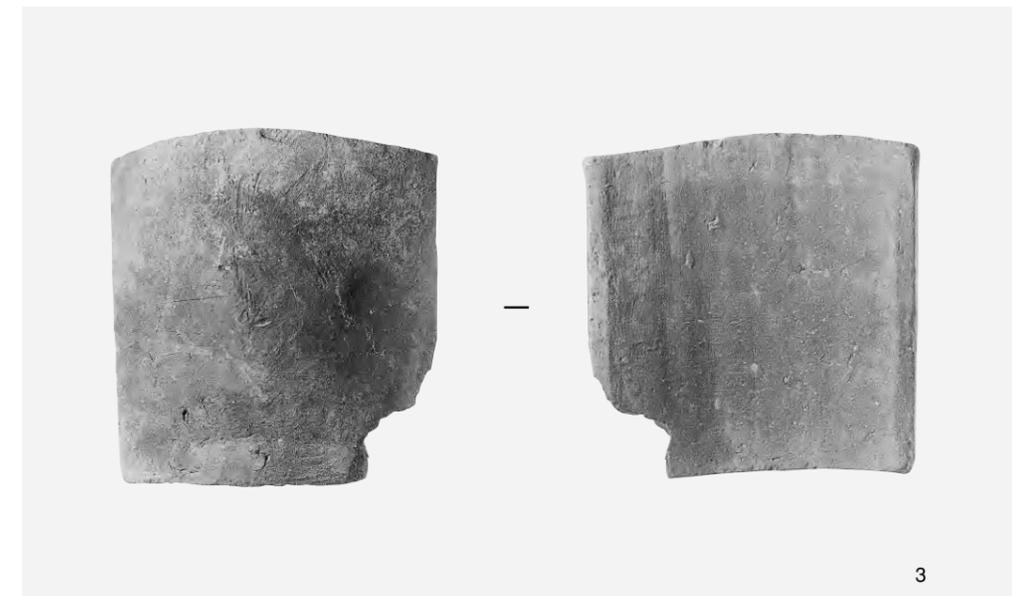
5・6 平瓦を半円形に加工した瓦。



1 平瓦6類Aを焼成後に加工した「鬼瓦」。凹面に風蝕痕跡あり。平瓦として使用後に加工転用。宝蔵出土。



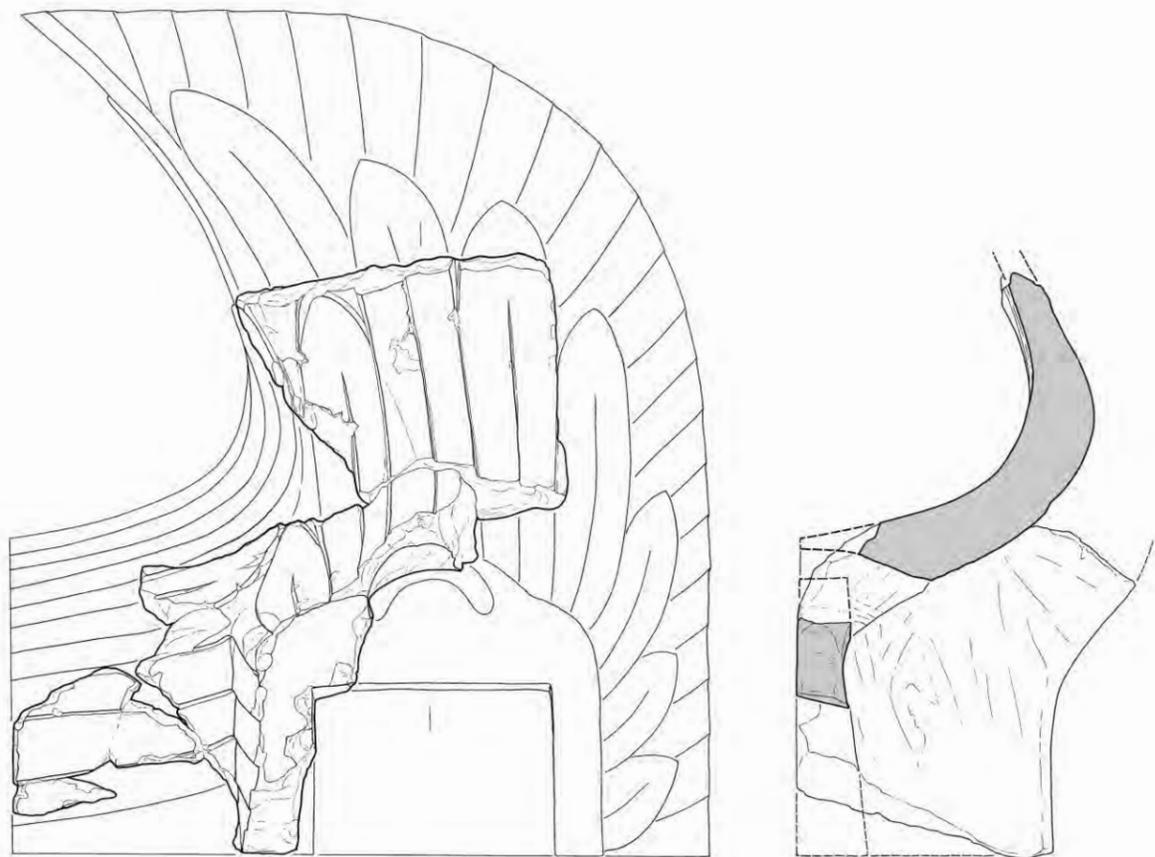
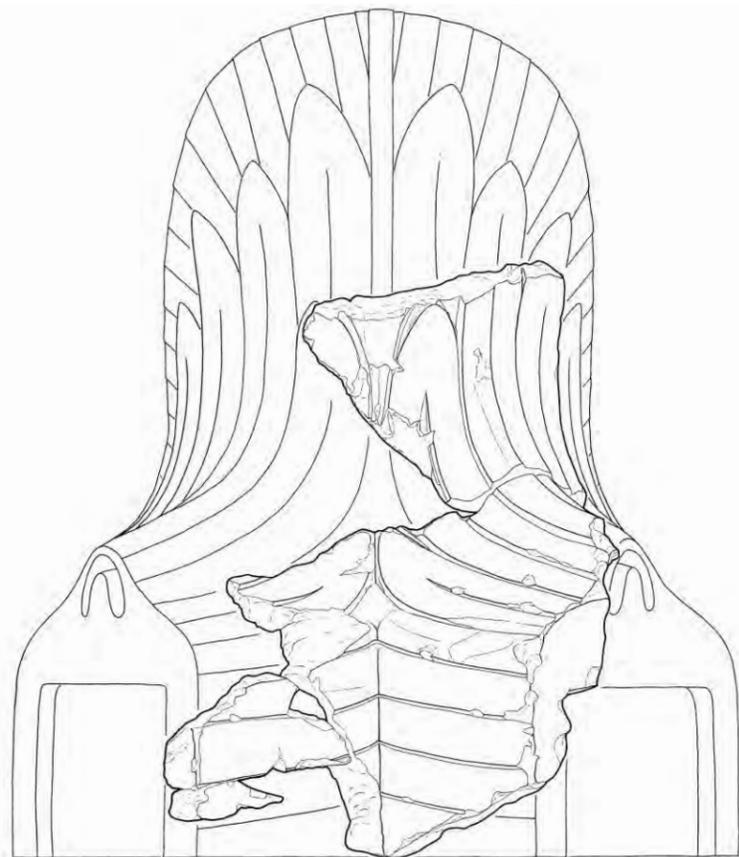
3 平瓦1類を面戸瓦風に加工した瓦。金堂出土。



3 平瓦4類の広端を切り縮め、カーブさせた瓦。葺き足が長い。東面回廊出土。



1 鬼瓦 2 大型面戸瓦 3 用途不明  
1:6



1·2 双頭C1

0 1:8 50cm



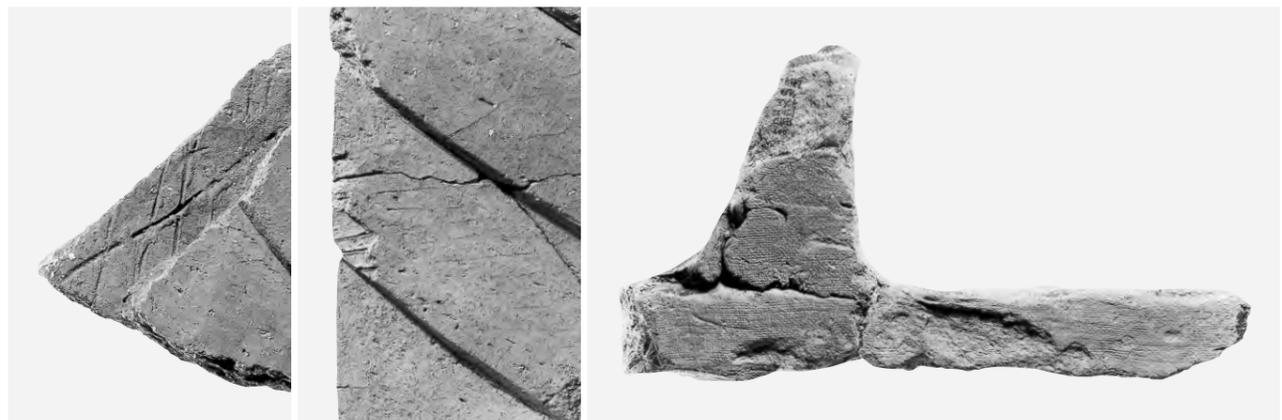
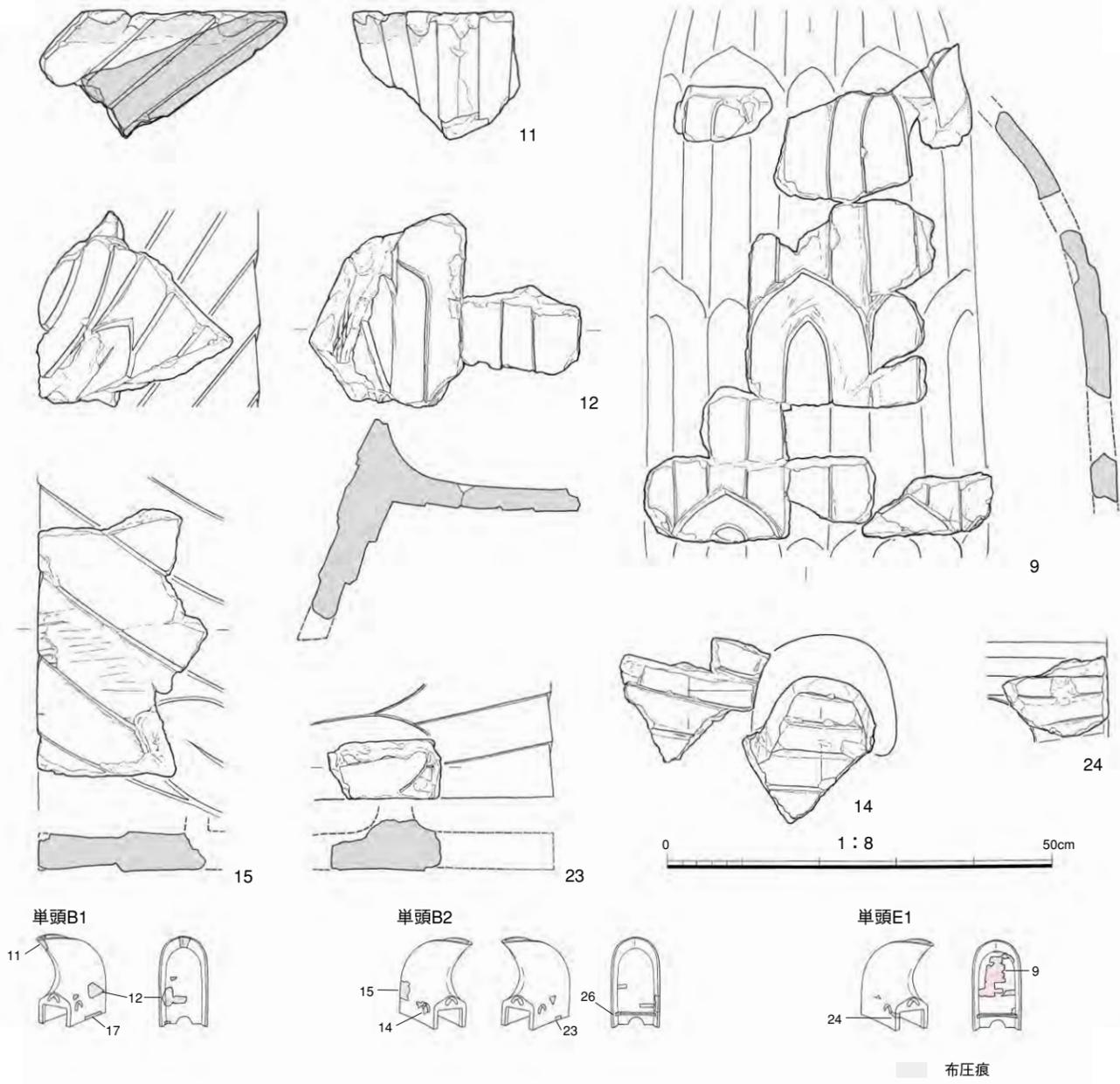
1 双頭C1



2 双頭C1

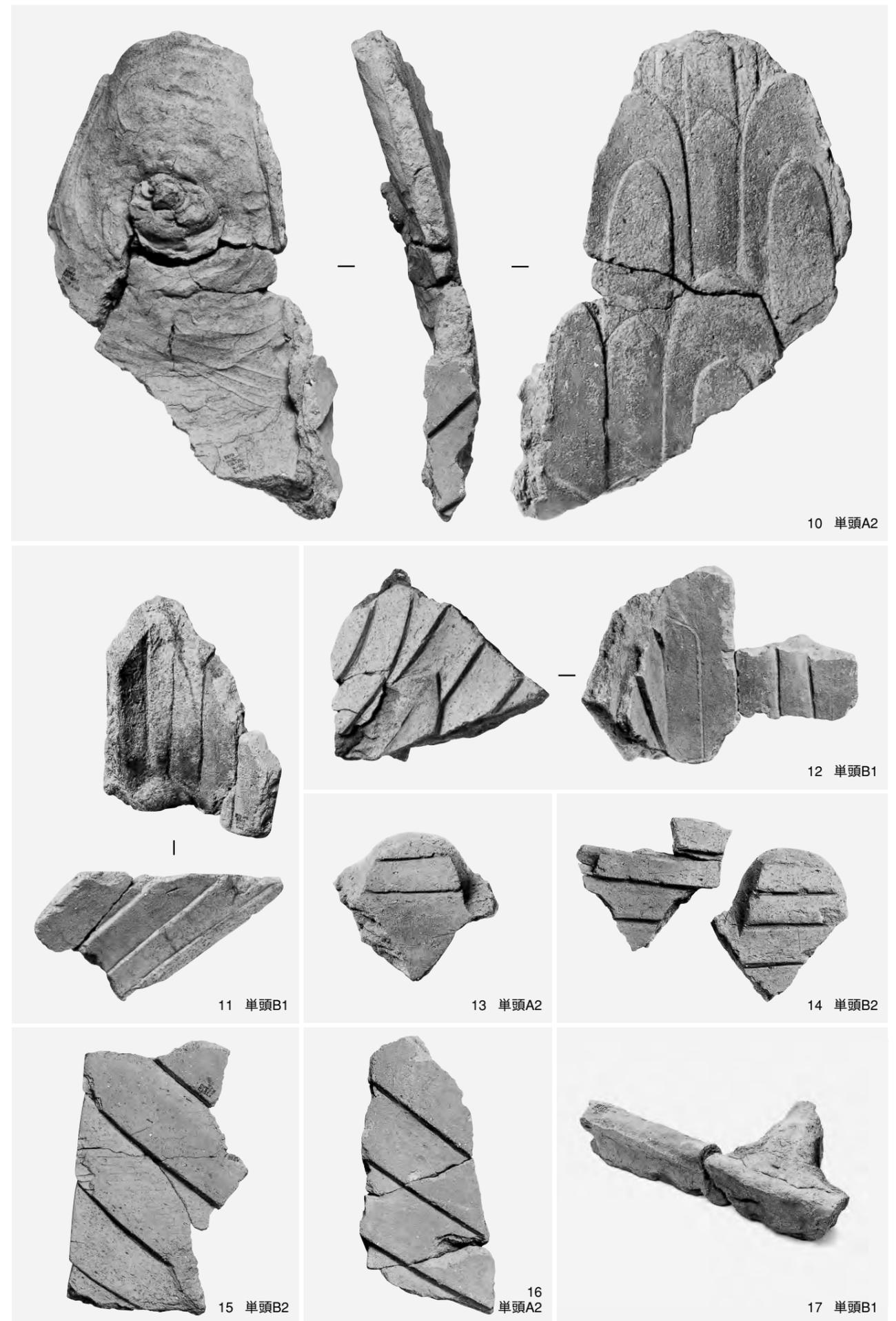
1:6





12 尾部キザミ目 (単頭B1) 15 尾部キザミ目 (単頭B2) 17 基底面布目 (単頭B1)

1 : 8 (12・15・17を除く)



10 単頭A2

12 単頭B1

11 単頭B1

13 単頭A2

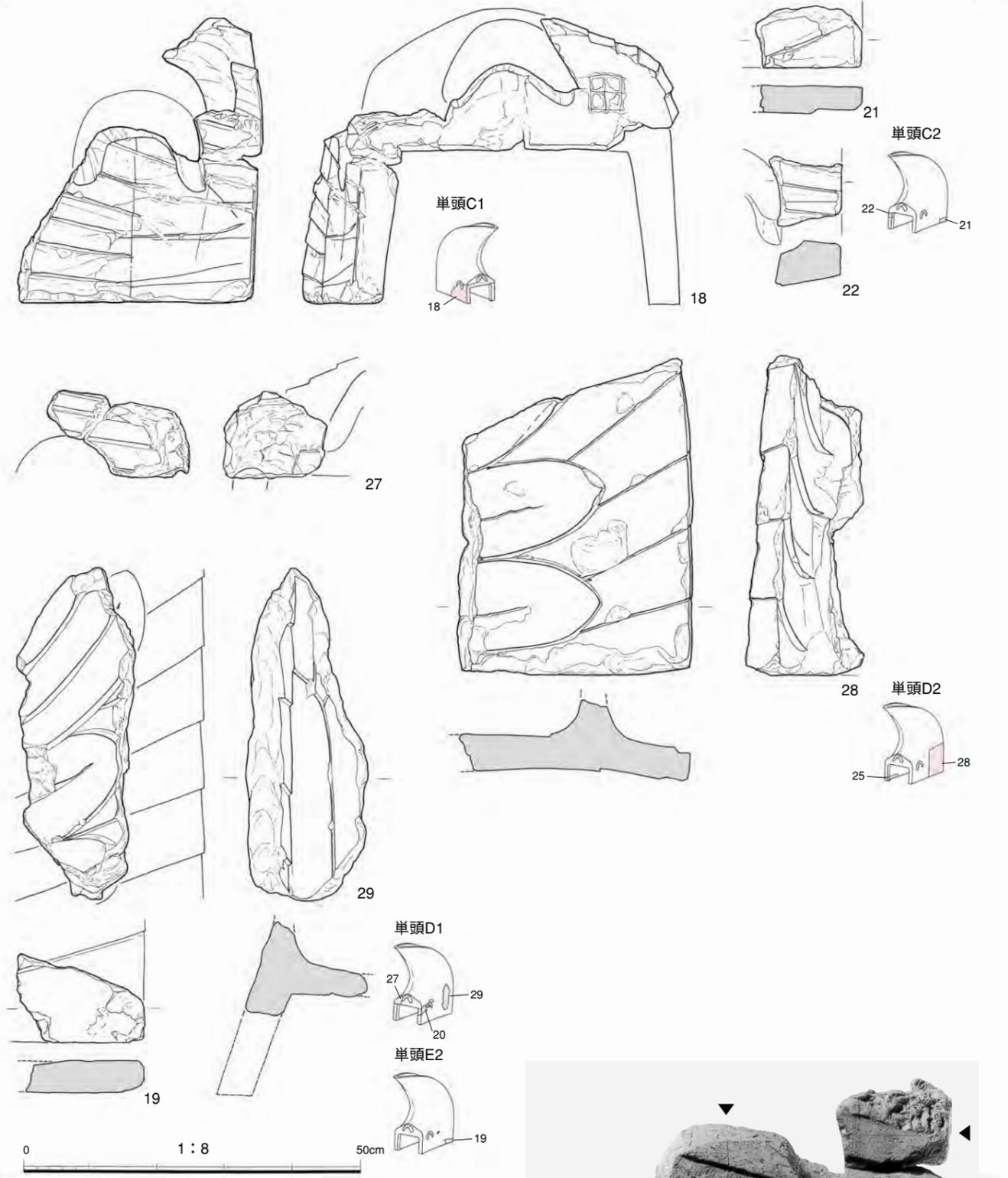
14 単頭B2

15 単頭B2

16 単頭A2

17 単頭B1

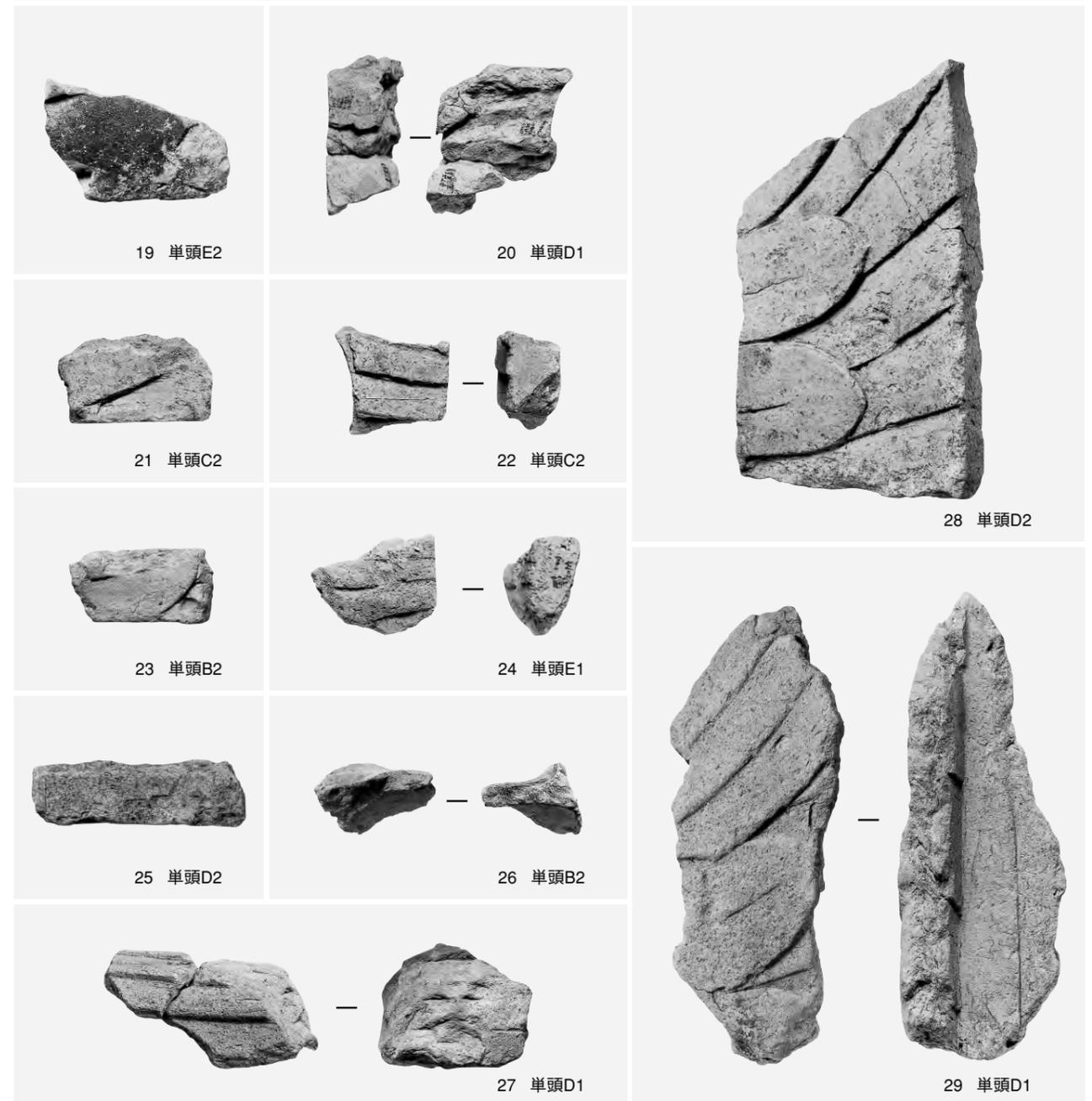
1 : 6



18 基準線▲と下書き線△ (単頭C1)



18 単頭C1



19 単頭E2

20 単頭D1

28 単頭D2

21 単頭C2

22 単頭C2

23 単頭B2

24 単頭E1

25 単頭D2

26 単頭B2

27 単頭D1

29 単頭D1

